



2021

Report on Test
Takers Worldwide

TOEIC[®]
SPEAKING
&
WRITING
TESTS



目次

TOEIC®バックグラウンドアンケート	3
2021年 TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴	4
国・地域別 TOEIC® Speaking Test 平均スコア	5
TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別集計	7
性別	12
学歴	13
専攻科目	14
就業状況	15
業種	16
職種	19
英語学習期間	20
英語学習の際に最も重要視する言語技能	21
日常生活での英語使用率	22
最も使用する言語能力	23
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	24
英語圏滞在経験	25
英語圏滞在目的	26
TOEIC® Speaking Test 受験経験	27
TOEIC® Speaking Test 受験目的	28
2021年 TOEIC® Writing Test 受験者の特徴	29
国・地域別 TOEIC® Writing Test 平均スコア	30
TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別集計	32
性別	37
学歴	38
専攻科目	39
就業状況	40
業種	41
職種	44
英語学習期間	45
英語学習の際に最も重要視する言語技能	46
日常生活での英語使用率	47

最も使用する言語能力	48
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度.....	49
英語圏滞在経験.....	50
英語圏滞在目的.....	51
TOEIC® Writing Test の受験経験	52
TOEIC® Writing Test 受験目的.....	53
スピーキングスコアとライティングスコアの関連性.....	53
資料 A TOEIC®バックグラウンドアンケート.....	54
バックグラウンドアンケート	54
資料 B1.....	56
2021 年 TOEIC® Speaking Test の母集団に基づく各設問の回答率.....	56
資料 B2.....	57
2021 年 TOEIC® Writing Test の母集団に基づく各設問の回答率	57
資料 C.....	58
地域別スピーキング・ライティングスコアの相関値.....	58

TOEIC®バックグラウンドアンケート

TOEIC®バックグラウンドアンケートは、TOEIC® Speaking & Writing Tests（以下、TOEIC S&W）受験者の学歴、職歴、英語の学習と使用、そして TOEIC S&W 受験歴についての情報を収集する自己記入式調査です。アンケートへの回答から、受験者のバックグラウンドや、受験者の TOEIC S&W のスコアと英語能力の向上に影響する要因がわかります。受験者は、TOEIC S&W を受ける前に、TOEIC バックグラウンドアンケートに回答します。

TOEIC バックグラウンドアンケートの設問は資料 A を参照してください。

本報告書は、2021 年に世界において TOEIC S&W の全受験者が回答した TOEIC バックグラウンドアンケート結果に基づいています。

受験者の総数は国・地域によって異なりますのでご注意ください。また、回答率も質問項目によって異なり、スピーキング（資料 B1）とライティング（資料 B2）では回答率にかなりの違いがありました。このため、以下のデータに基づいた推測を行う際にはご注意ください。

受験者は、TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の両方を同時に受けることも、どちらかのテストを単独で受けることもできます。本報告書は、異なる受験母集団に基づいてスピーキング、ライティングそれぞれの質問項目別にスコアに関する情報をまとめたものです。

報告書本文に記載されるパーセンテージ（%）は小数点以下を調整し整数値で表示しているため、合計値が 100% を超える場合があります。また表やグラフ等で紹介する数値は、サンプル数が 50 以上のもの限定しています。

2021年 TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴

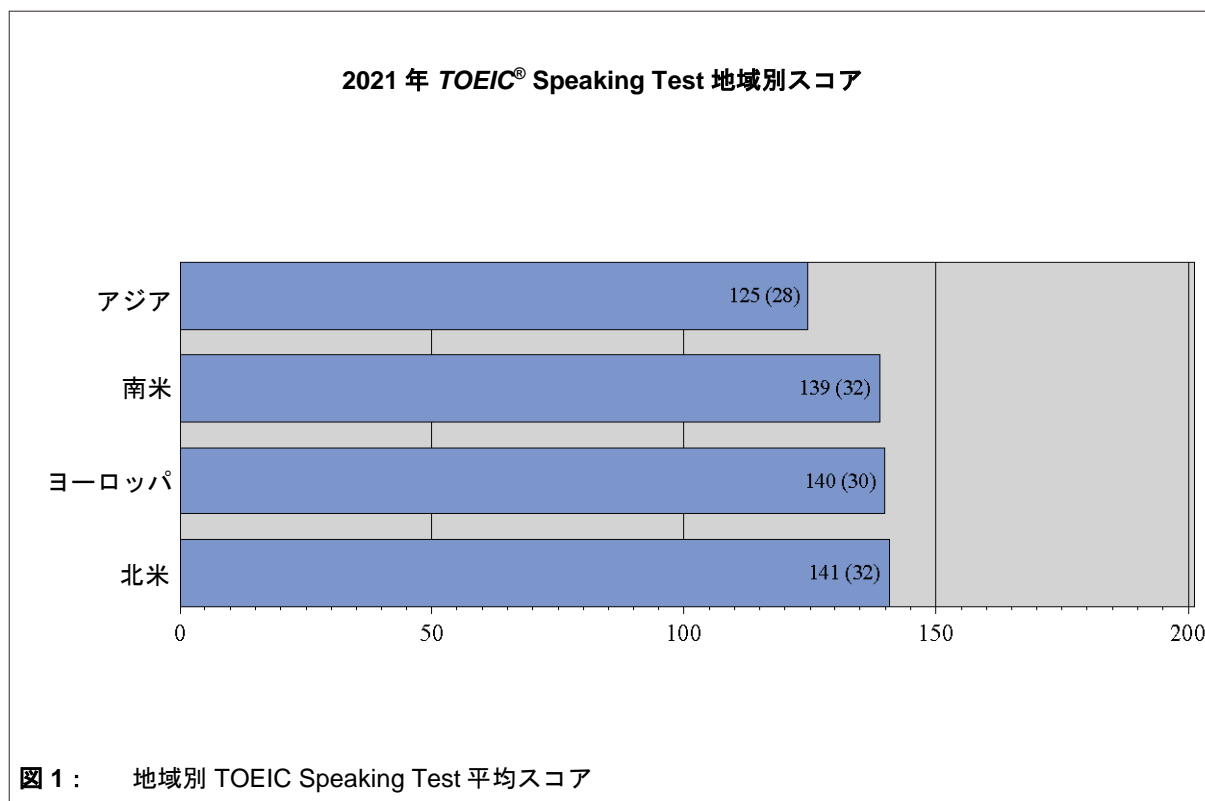
バックグラウンド情報は、公開テストまたは団体特別受験制度により2021年 TOEIC® Speaking Test を受けた受験者（TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の両方を受けた受験者、TOEIC® Speaking Test のみ受けた受験者を含む）全員から収集しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴です。前述の通り、各質問項目に回答した受験者総数は異なります。

- 性別は58%が男性
- 学歴（最終学歴または受験時在学）で最も多いのは大学卒または大学在学中（69%）
- 専攻で最も多いのは「工学」で41%、「教養学」が18%、「経営学」が14%
- 47%が「フルタイム勤務者」で、32%は「全日制学生」
- 就業者の業種は42%が「製造業」で、20%が「サービス業」
- 職種は22%が「事務職」、16%が「技術者」、15%が「科学／技術職」
- 80%が6年以上の英語学習経験あり
- 英語学習において最も重視される技能としては、40%が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、40%が「1～10%」と回答
- 最も頻繁に使用する英語技能としては、23%が「リーディング」を選択
- 46%は英語でのやりとりに「時々」苦労すると回答
- 58%は英語圏滞在経験なし
- 英語圏滞在目的としては、36%が「旅行のため」、25%が「英語学習プログラム参加のため」を選択
- 過去の受験経験は39%が「なし」、27%が「3回以上」
- 受験目的については、47%が「就職活動のため」、25%が「昇進・昇格のため」と回答

国・地域別 TOEIC® Speaking Test 平均スコア

以下の図 1 は、国・地域別の TOEIC® Speaking Test スコアの平均と標準偏差を示しています。次ページの表 1 は、受験者が受験した国・地域別の平均スコアを集計したものです。ただし、受験者が TOEIC® Speaking Test を受験した国・

地域は、受験者の母国と必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、この表には TOEIC® Speaking Test 受験者が 50 名以上の国のみ掲載されています。



*注：各チャートには受験者が 50 名以上の国のみ反映されています。メキシコは北米に含みます。

表 1 : 国・地域別平均スコア

国・地域名	スピーキング	
	平均	(SD)*
チリ	136	(33)
中華人民共和国	118	(22)
コロンビア	147	(29)
コスタリカ	144	(30)
エクアドル	134	(34)
エルサルバドル	134	(23)
フランス	147	(27)
ドイツ	159	(24)
香港	97	(42)
インドネシア	114	(28)
イタリア	139	(27)
日本	111	(33)
韓国	128	(25)
メキシコ	149	(27)
オランダ	143	(28)
パナマ	120	(27)
フィリピン	157	(19)
シンガポール	123	(27)
スペイン	136	(30)
台湾	144	(23)
タイ	111	(35)
アラブ首長国連邦	135	(20)
米国	91	(57)
ベトナム	98	(31)

*SD=標準偏差

TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別集計

表 2 は、カテゴリー別に分けられた TOEIC® Speaking Test 受験者の人数割合 (%) と TOEIC® Speaking Test の平均スコアを示しています。各カテゴリーの受験者の詳細な情報は表 2 の後に示されています。

本報告書で使用されるカテゴリーはバックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
性別	女性	41.7	133	(27)
	男性	58.3	124	(25)
学歴	小学校	1.9	107	(36)
	中学校	0.9	106	(38)
	高校	3.8	120	(34)
	高専	0.5	114	(32)
	専門学校	0.6	114	(35)
	短大	5.0	113	(31)
	大学	69.4	130	(24)
	大学院	14.0	128	(24)
	語学学校	3.8	127	(26)
専攻科目	教養学	17.5	134	(29)
	社会学	6.7	136	(26)
	経営学	14.0	133	(26)
	科学	7.0	127	(25)
	医療関連	2.6	131	(28)
	工学	41.0	123	(23)
	その他	11.2	124	(31)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
就業状況	フルタイム勤務者	46.7	124	(27)
	パートタイム勤務者	5.1	128	(30)
	非就業者	16.6	132	(23)
	全日制学生	31.6	132	(25)

業種	農業	3.1	106	(34)
	建設	4.1	121	(25)
	食品	1.8	126	(31)
	医薬品	1.5	124	(26)
	化学	3.8	123	(24)
	繊維	0.2	124	(29)
	石油	0.6	129	(23)
	金属	2.3	126	(25)
	機械	6.4	118	(23)
	電機	13.7	117	(23)
	自動車	3.9	118	(28)
	ガラス	0.1	119	(28)
	アパレル	1.3	133	(27)
	その他製造	6.2	117	(26)
	教育機関 (高校以下)	2.5	143	(27)
	教育機関 (大学以上)	1.5	144	(28)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリ一別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	スピーキング	
		平均	(SD)*
業種 (続き)	政府/役所/公益団体	1.0	133 (24)
	国際団体	0.3	142 (26)
	軍隊/自衛隊	1.6	132 (25)
	医療	1.5	127 (28)
	旅行	4.1	135 (25)
	その他サービス	7.6	131 (27)
	公共事業 (電気/ガス)	2.9	128 (22)
	マスコミ	0.9	136 (27)
	通信	4.7	120 (22)
	小売/卸し	1.2	122 (32)
	商社	2.4	131 (28)
	金融	3.4	131 (25)
	保険	0.4	128 (29)
	不動産	0.3	127 (29)
	運輸	1.4	134 (27)
	その他	13.2	123 (30)
職種	経営者	11.3	123 (30)
	科学/技術職	14.7	121 (23)
	教師/講師	4.1	140 (30)
	専門職	3.0	130 (26)
	技術者	15.9	117 (24)
	マーケティング/販売	8.3	126 (28)
	事務職	21.7	123 (27)
	サービス業	9.2	132 (27)
	その他	11.8	124 (29)
英語学習期間	4年以下	10.5	113 (31)
	4年超~6年	9.1	122 (26)
	6年超~10年	21.9	126 (25)
	10年超	58.5	132 (24)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリ別平均スコア（続き）

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
最も重要視する言語技能	リスニング	7.8	120	(29)
	リーディング	4.5	125	(28)
	スピーキング	16.6	126	(25)
	ライティング	1.0	125	(31)
	リスニング&スピーキング	27.8	126	(25)
	リーディング&ライティング	2.5	130	(29)
	リスニング、リーディング、スピーキング &ライティング	39.8	132	(26)
日常生活での英語使用率	なし	9.0	120	(29)
	1~10%	39.5	125	(26)
	11~20%	29.9	129	(24)
	21~50%	15.7	134	(25)
	51~100%	5.8	141	(28)
最も使用する英語技能	リスニング	11.7	125	(29)
	リーディング	22.6	127	(25)
	スピーキング	12.2	126	(26)
	ライティング	3.0	125	(29)
	リスニング&スピーキング	19.0	127	(26)
	リーディング&ライティング	11.2	129	(25)
	リスニング、リーディング、スピーキング &ライティング	20.3	131	(26)
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	ほとんどない	7.1	131	(37)
	あまりない	14.9	135	(28)
	時々	46.3	130	(24)
	頻繁にある	21.6	123	(23)
	ほぼ常時	10.2	114	(27)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリ一別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
英語圏滞在期間	なし	58.1	124	(26)
	6 カ月未満	24.0	128	(24)
	6 カ月～12 カ月	7.7	134	(24)
	1 年～2 年	3.9	141	(25)
	2 年超	6.2	147	(29)
英語圏滞在目的	進学のため	13.0	151	(26)
	英語学習プログラム参加のため	25.4	135	(22)
	旅行のため	36.2	128	(23)
	仕事のため	17.0	123	(25)
	その他	8.4	142	(29)
TOEIC S&W 受験回数	なし	38.8	129	(29)
	1 回	22.4	130	(25)
	2 回	12.0	128	(24)
	3 回以上	26.8	124	(24)
TOEIC S&W 受験目的	就職活動のため	46.8	131	(24)
	昇進・昇格のため	24.6	120	(26)
	英語学習プログラムの結果を測るため	5.2	128	(27)
	英語学習のため	12.3	130	(28)
	卒業に必要なため	11.0	128	(28)
	ビザ取得のため	0.1	110	(41)

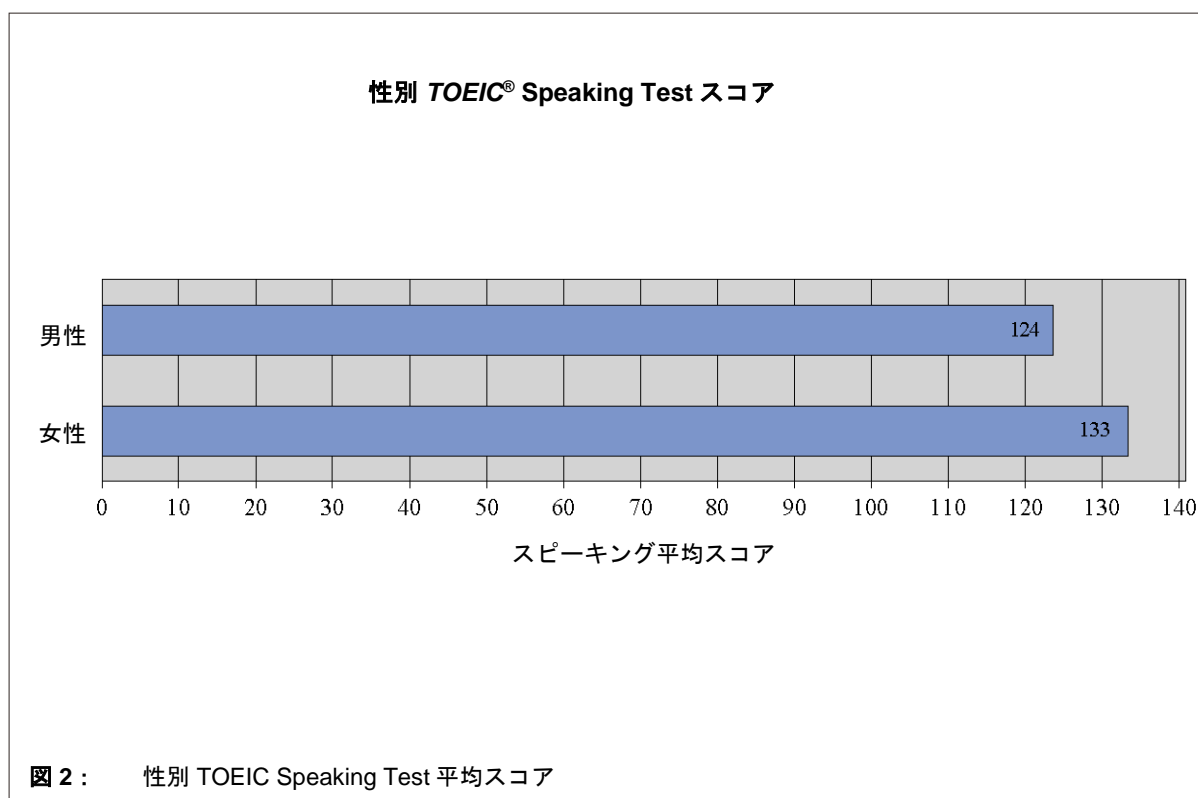
*SD=標準偏差

性別

全体として、TOEIC® Speaking Test 受験者は男性の割合が高くなっています（図 2 参照）。男性受験者が多い国・地域は、米国（86%）、インドネシア（81%）、中国（76%）、韓国（59%）、チリ（58%）、メキシコ（57%）、フィリピン（56%）、タイおよびシンガポール（いずれも 53%）、日本（52%）などです。

一部、女性の受験者割合が男性より高い国・地域がありました。エクアドル（69%）、コスタリカおよびパナマ（いずれも 61%）、ベトナム（60%）がその例です。

図 2 が示すように、TOEIC® Speaking Test の平均スコアでは女性が男性を上回りました。



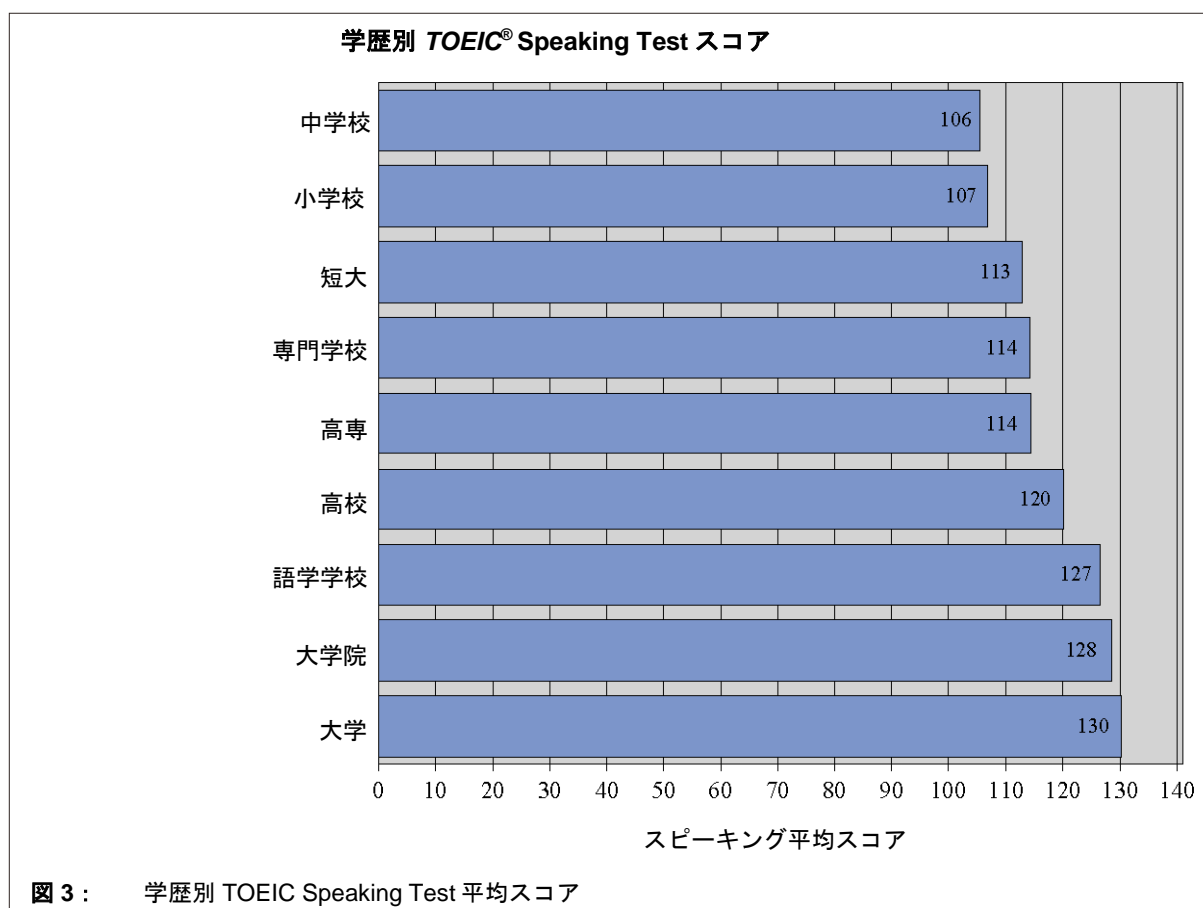
学歴

受験者の大半の最終学歴は、TOEIC®バックグラウンドアンケート回答時点で大学卒（学士取得）または大学在学中となっています

（69%）。大学卒または大学在学中の受験者の割合は、女性（70%）と男性（70%）で同率でした。大学院卒または大学院在学中の受験者の割合は、女性（11%）よりも男性（16%）の方がやや高い結果となりました。

国・地域によって教育システムが異なるため、

学歴について一律に国別で比較することはできませんが、大学卒または大学在学中の受験者の割合が特に高い国・地域としては、フィリピン（91%）、アラブ首長国連邦（75%）、韓国（74%）、米国（68%）、メキシコ（64%）、日本（60%）が挙げられます。これに対し、大学院卒または大学院在学中の受験者の割合が最も高い国・地域はフランス（48%）となりました。小学校卒の受験者の割合が特に高い国・地域は、パナマ（60%）およびエルサルバドル（56%）です。

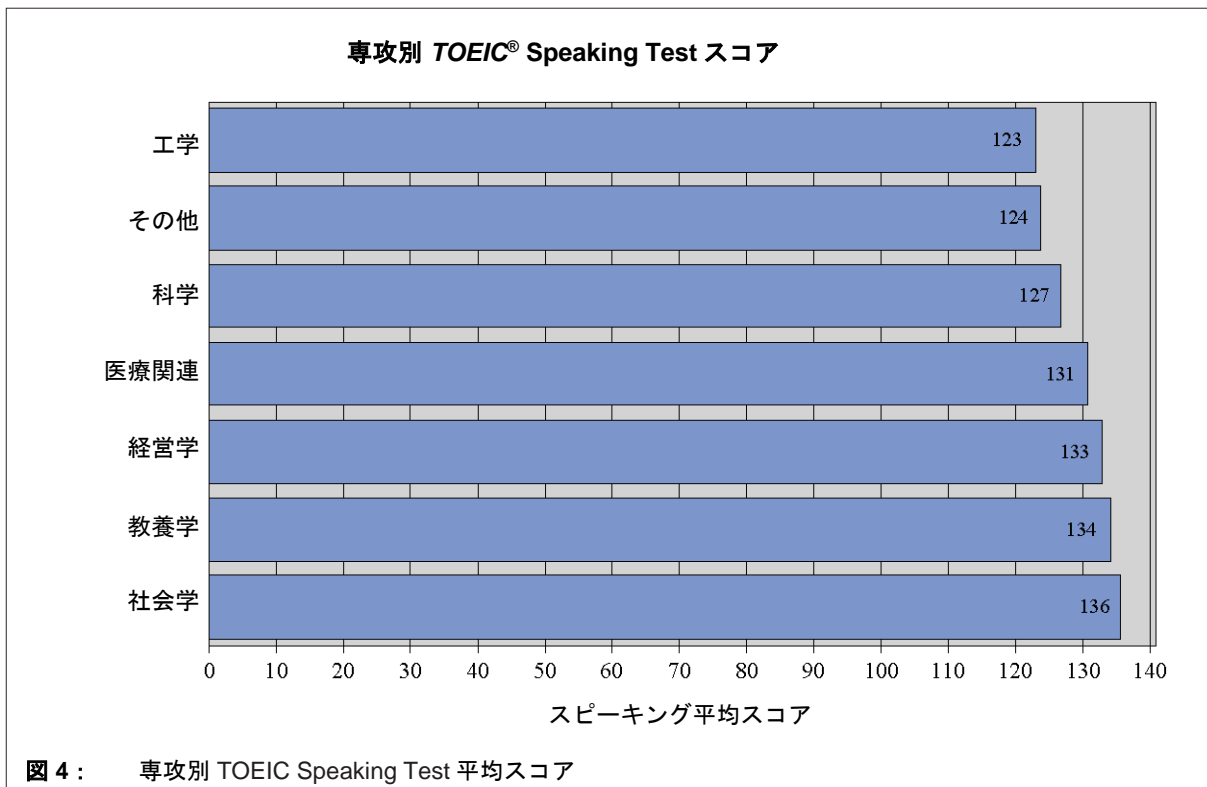


専攻科目

受験者の専攻科目で最大の割合を占めたのは「工学」（41%）です。「工学」専攻の受験者の割合が特に高い国・地域は、インドネシア（80%）、アラブ首長国連邦（69%）、フィリピン（60%）、韓国（46%）となっています。2番目に多い専攻科目は「教養学」（18%）、3番目に多いのは「経営学」（14%）でした。「教養学」専攻の受験者の割合が特に高い国・地域は、パナマ（73%）、エルサルバドル（68%）、ベトナム（67%）です。

「経営学」専攻の受験者の割合が高い国・地域は、中国（38%）、ドイツ（34%）、メキシコ（28%）、タイ（27%）などでした。

全体で見ると、「教養学」専攻の受験者の割合は男性（9%）よりも女性（28%）、「工学」専攻の割合は女性（21%）よりも男性（57%）の方が高くなっています。

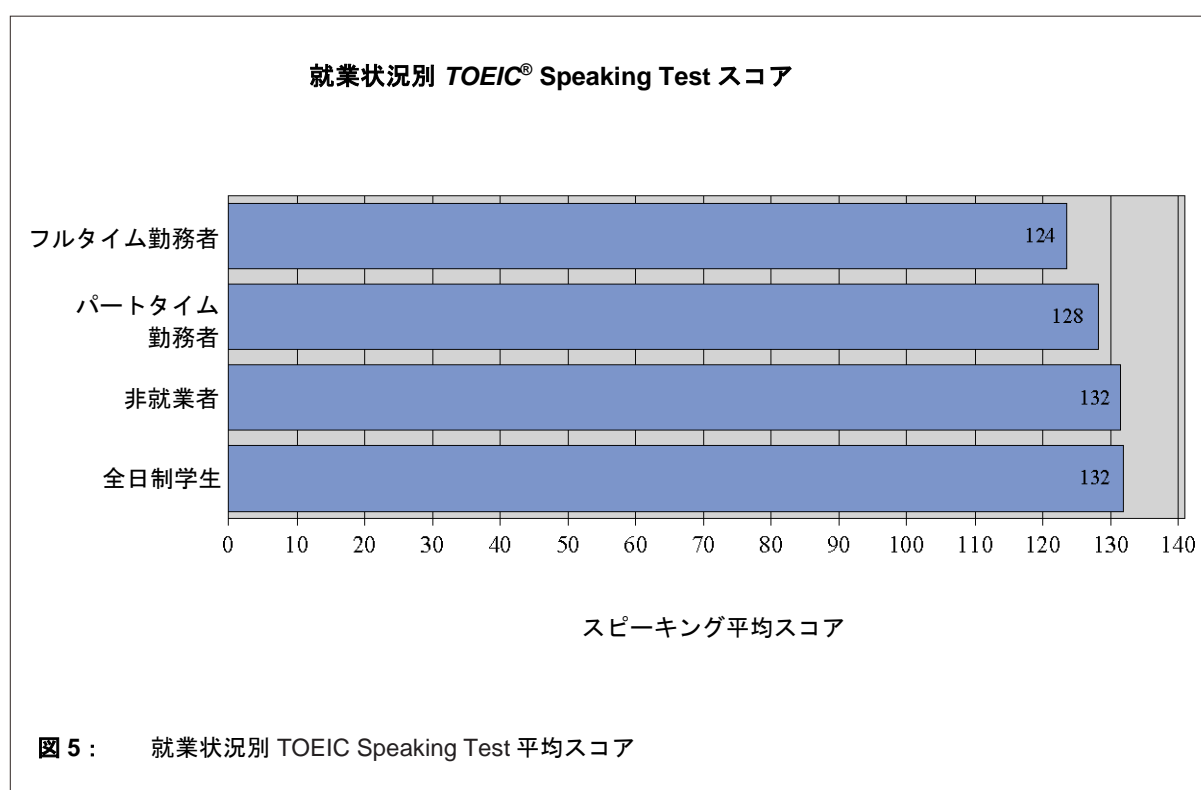


就業状況

TOEIC® Speaking Test 受験者の多くは「フルタイム勤務者」(47%) または「全日制学生」(32%) でした。「フルタイム勤務者」の割合が高い国・地域としては、アラブ首長国連邦(97%)、中国(94%)、米国(92%)、タイ(87%)、ベトナム(80%)、エクアドルおよびメキシコ(いずれも79%)、日本(58%)、韓国(44%)などが挙げられます。「全日制学

生」の割合が特に高い国・地域は、フィリピンおよびシンガポール(いずれも81%)、オランダ(52%)です。

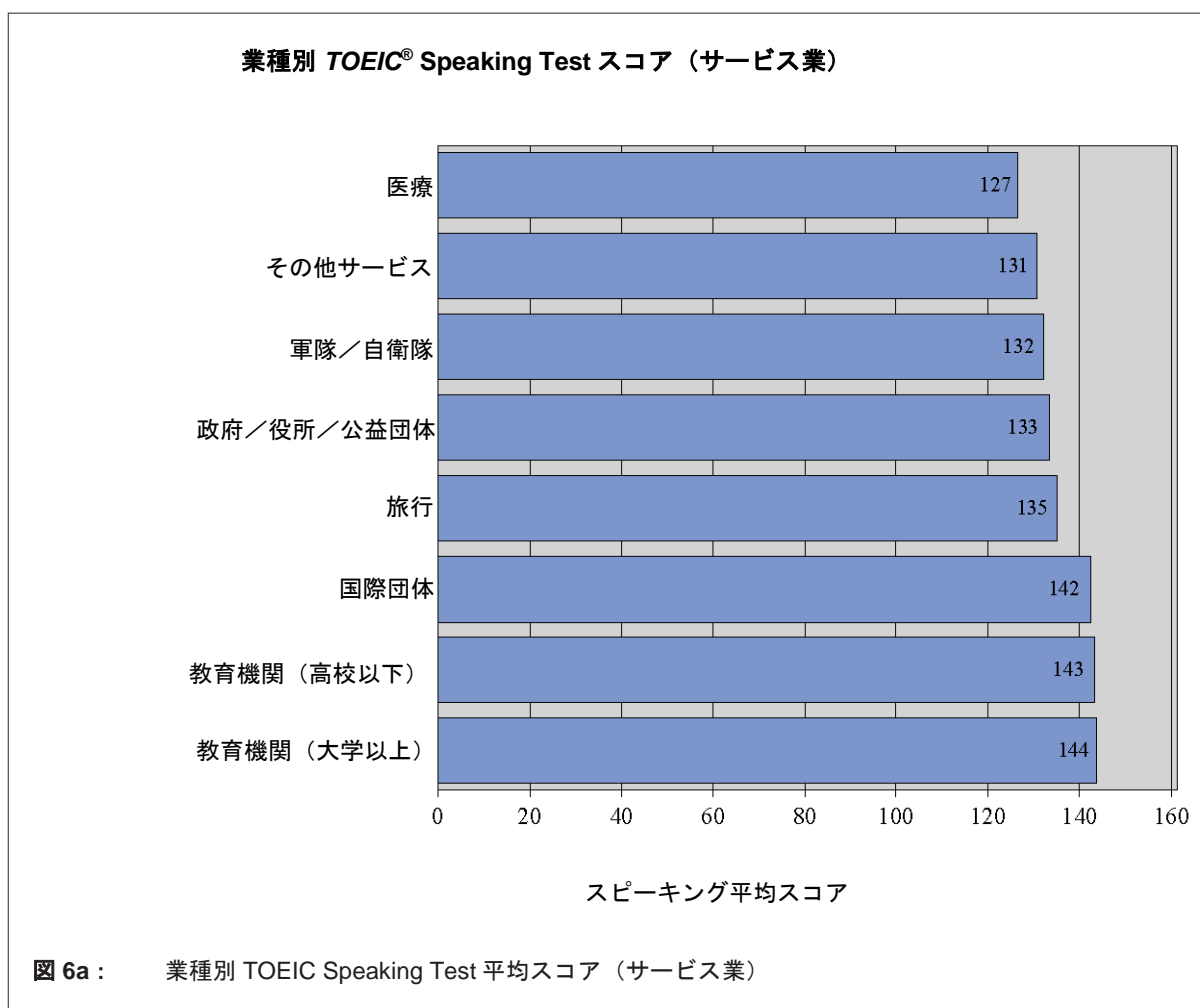
全体で見ると、「フルタイム勤務者」の割合は女性(37%)よりも男性(54%)、「全日制学生」の割合は男性(28%)よりも女性(36%)の方が高くなっています。



業種

表 2に見られるように、ほとんどのフルタイム勤務者は「製造業」もしくは「サービス業」に従事しています。

図 6a（サービス業）、図 6b（製造業）および図 6c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC® Speaking Test の平均スコアを業種別に表したものです。



業種別 TOEIC® Speaking Test スコア（製造業）

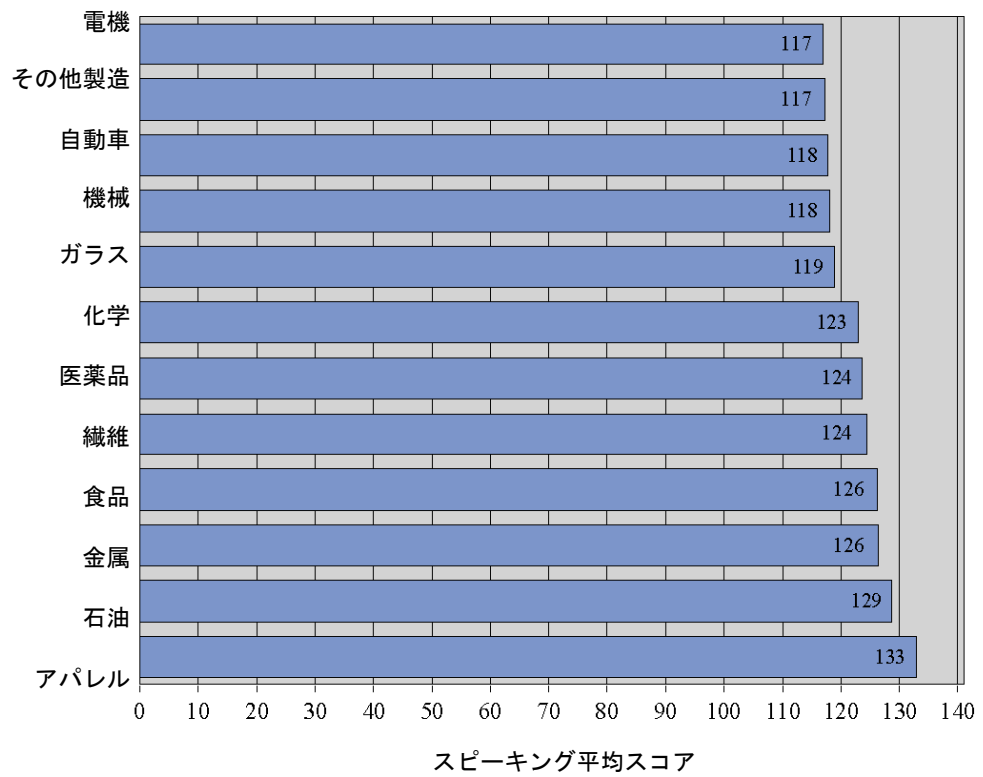
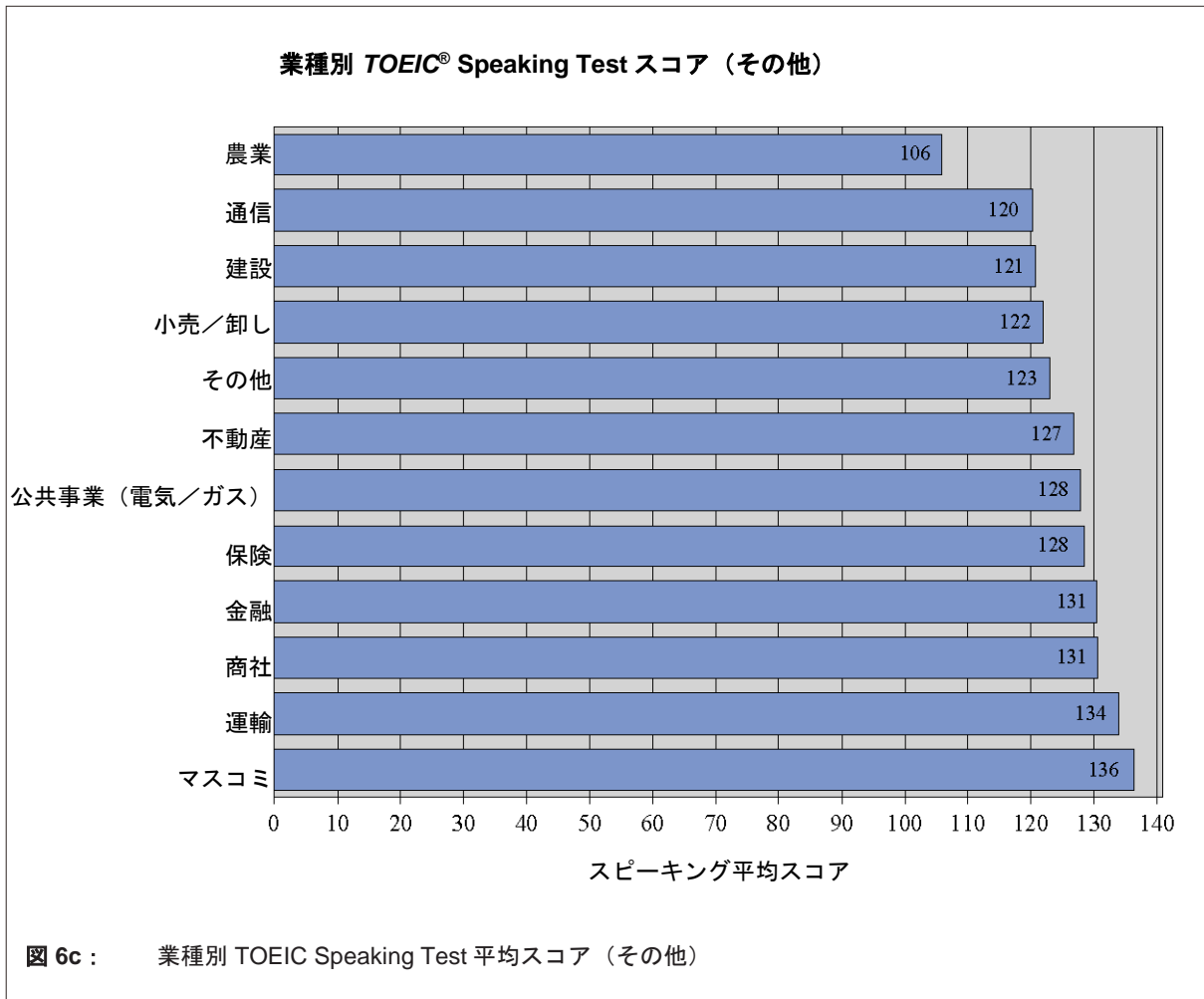


図 6b : 業種別 TOEIC Speaking Test 平均スコア（製造業）



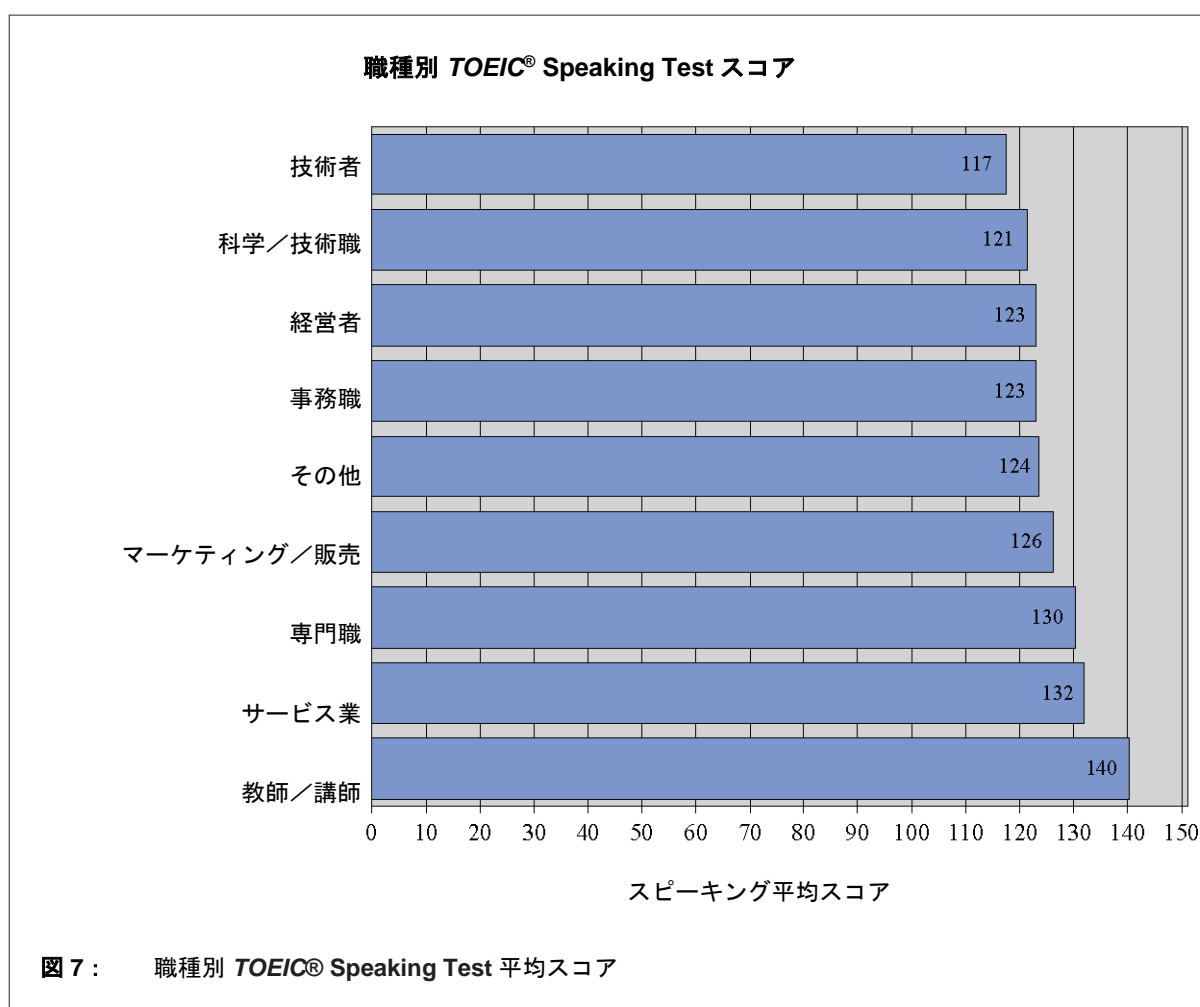
職種

受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。受験者全体では「事務職」が最大の割合を占めました（22%）。

「事務職」に従事する受験者の割合が最も高い国は韓国（26%）です。エルサルバドルとパナマでは、受験者のほぼ全員が「経営者」となっています（いずれも99%）。インドネシアでは、受験者の多くが「科学／技術職」（68%）

です。

全体で見ると、「サービス職」に従事する受験者の割合は、男性（4%）よりも女性（19%）の方が高くなっています。「技術者」の割合は女性（5%）よりも男性（22%）、「科学／技術職」の割合は女性（9%）よりも男性（18%）の方が高い結果となりました。



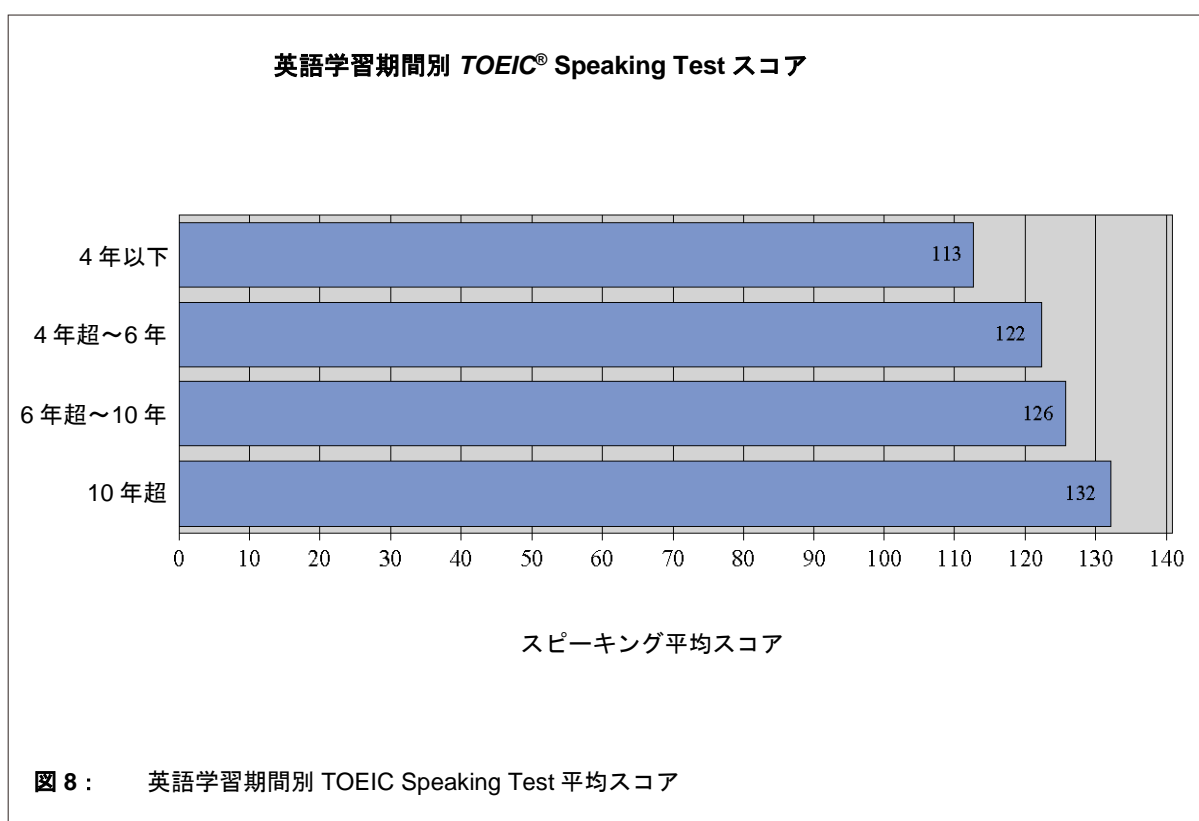
英語学習期間

2021年の受験者全体の80%は、6年以上の英語学習経験があると答えています。

英語学習期間が「4年以下」の受験者が多数を占める国・地域は、パナマ（99%）とエルサルバドル（98%）です。一方、英語学習期間が「10年超」の受験者が多い国・地域は、台湾

（67%）、フィリピン（63%）、韓国（61%）、日本（58%）となっています。

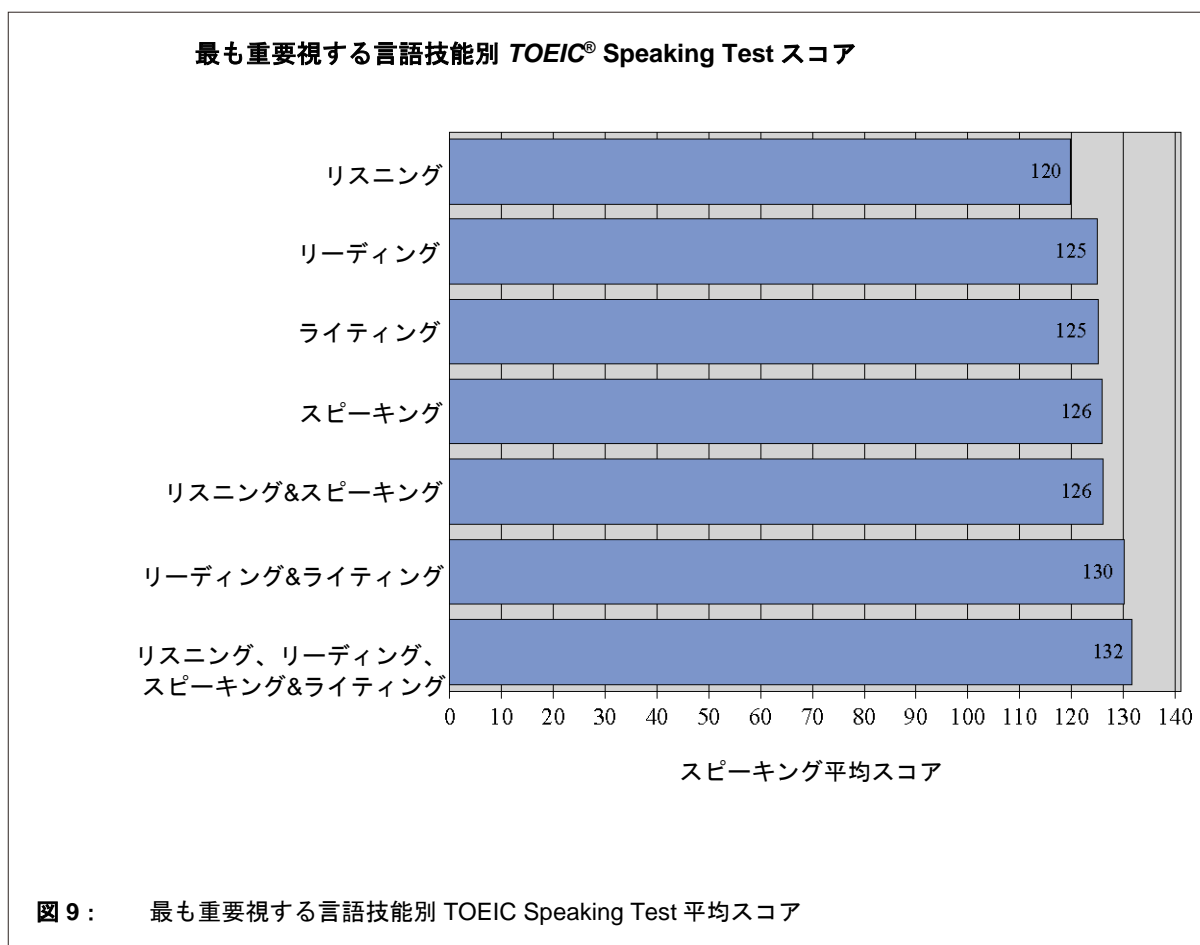
全体で見ると、10年超の英語学習経験がある受験者の割合は、男性（56%）よりも女性（63%）の方が若干高い結果となりました。



英語学習の際に最も重要視する言語技能

全体では受験者の40%が、学習の際に英語の4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重視すると回答しています。28%の受験者は「リスニング&スピーキング」を最も重視すると回答しました。

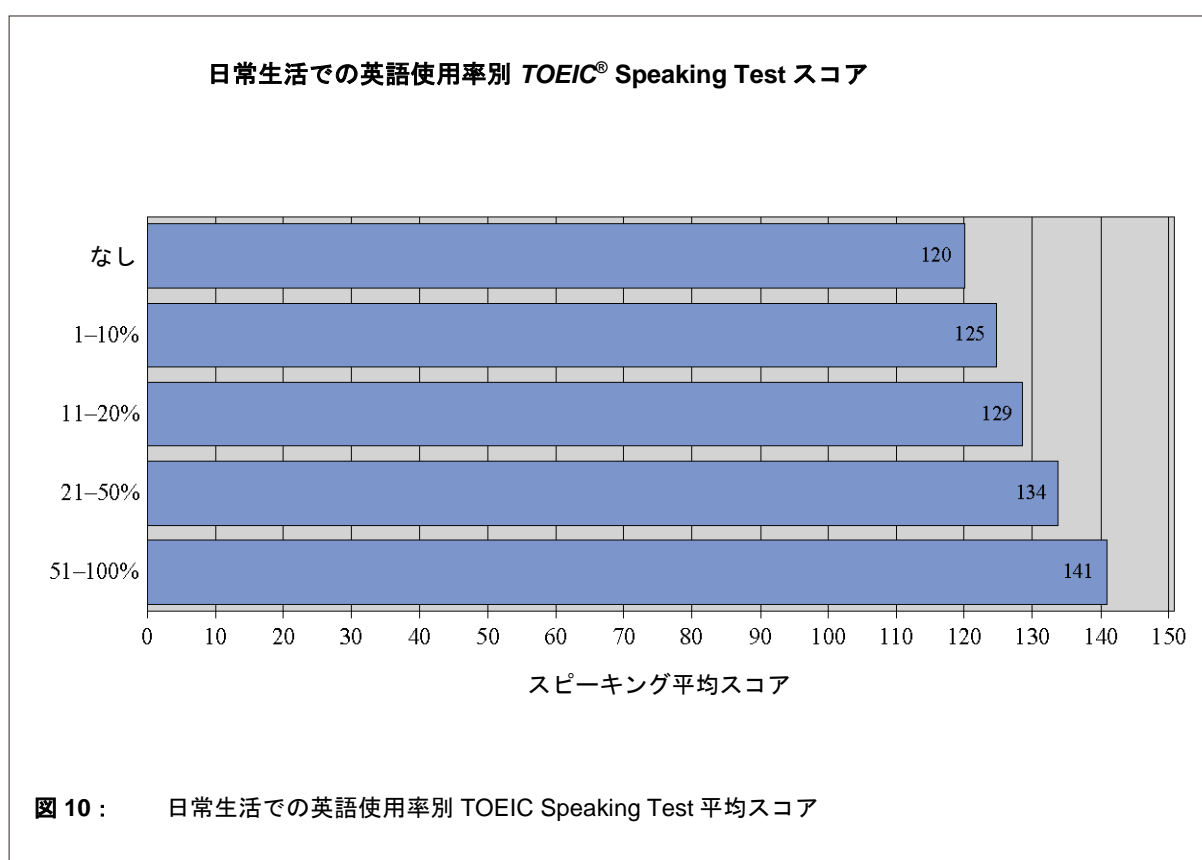
4技能すべてを重視すると答えた受験者が多い国・地域としては、韓国（43%）、台湾（38%）、フィリピン（36%）が挙げられます。一方、「リスニング」のみを重視すると回答した受験者が大部分を占めるのは、パナマ（78%）、ベトナム（67%）、エルサルバドル（57%）です。



日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の40%が「1～10%」と回答しました。このように回答した受験者が多い国・地域としては、インドネシア（63%）、日本、韓国およびシンガポール（いずれも41%）などが挙げられます。

日常的に英語をまったく使用しないと答えた受験者が多い国・地域は、パナマ（73%）、ベトナム（59%）、エルサルバドル（56%）となっています。

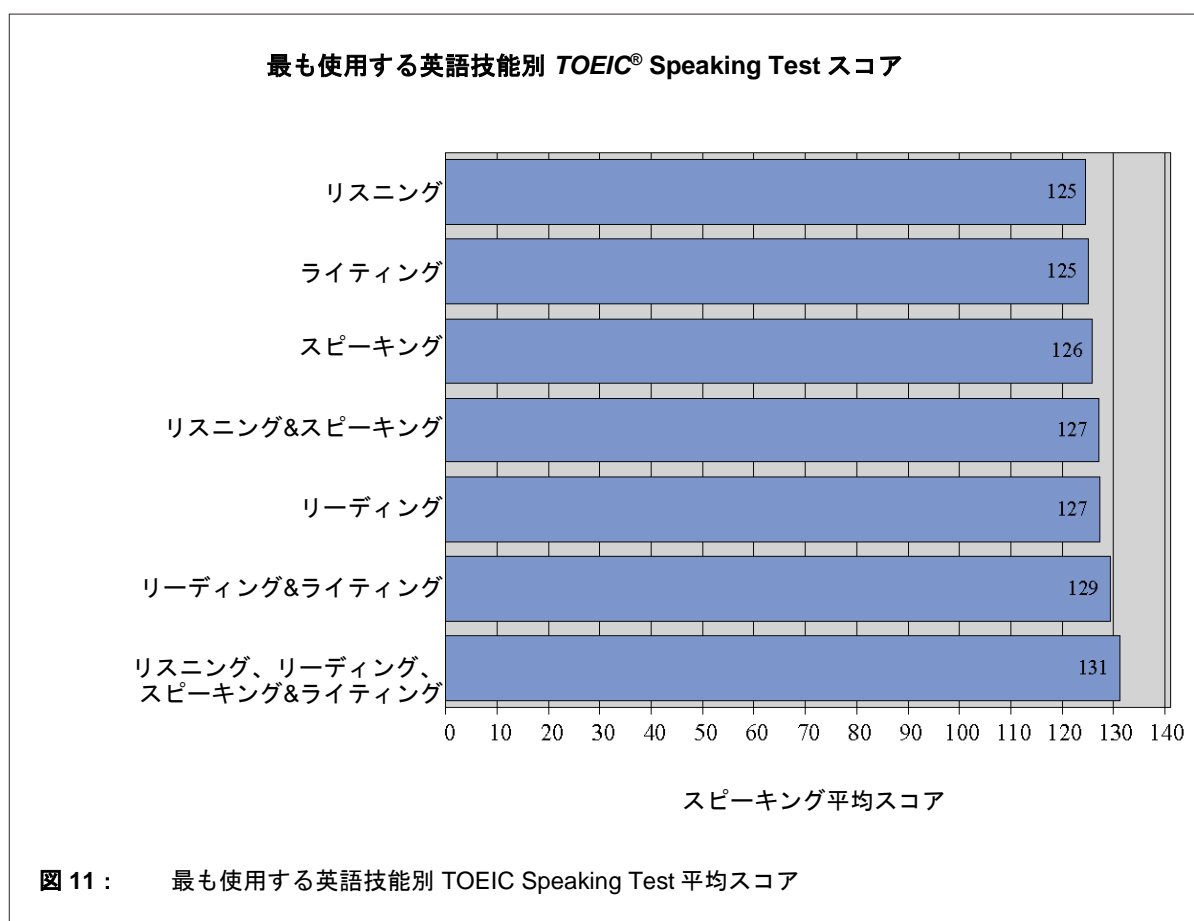


最も使用する言語能力

受験者全体の19%は、最も使用する英語技能として「リスニング&スピーキング」を挙げました。4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）と答えた受験者の割合は20%、「リーディング」は23%となっています。最も使用する技能として4技能すべてを挙げた受験者の割合が最も高い国・地域は米国（24%）です。「リスニング&スピーキング」を挙げた割合が最も高いのも同じく米国（35%）で、シンガポール（26%）がそれに続いています。

「リスニング」という回答が多いのは、パナマ（80%）、ベトナム（66%）、エルサルバドル（65%）、イタリア（38%）、日本（36%）、「リーディング」という回答が多いのは、台湾（33%）、チリ（32%）となっています。

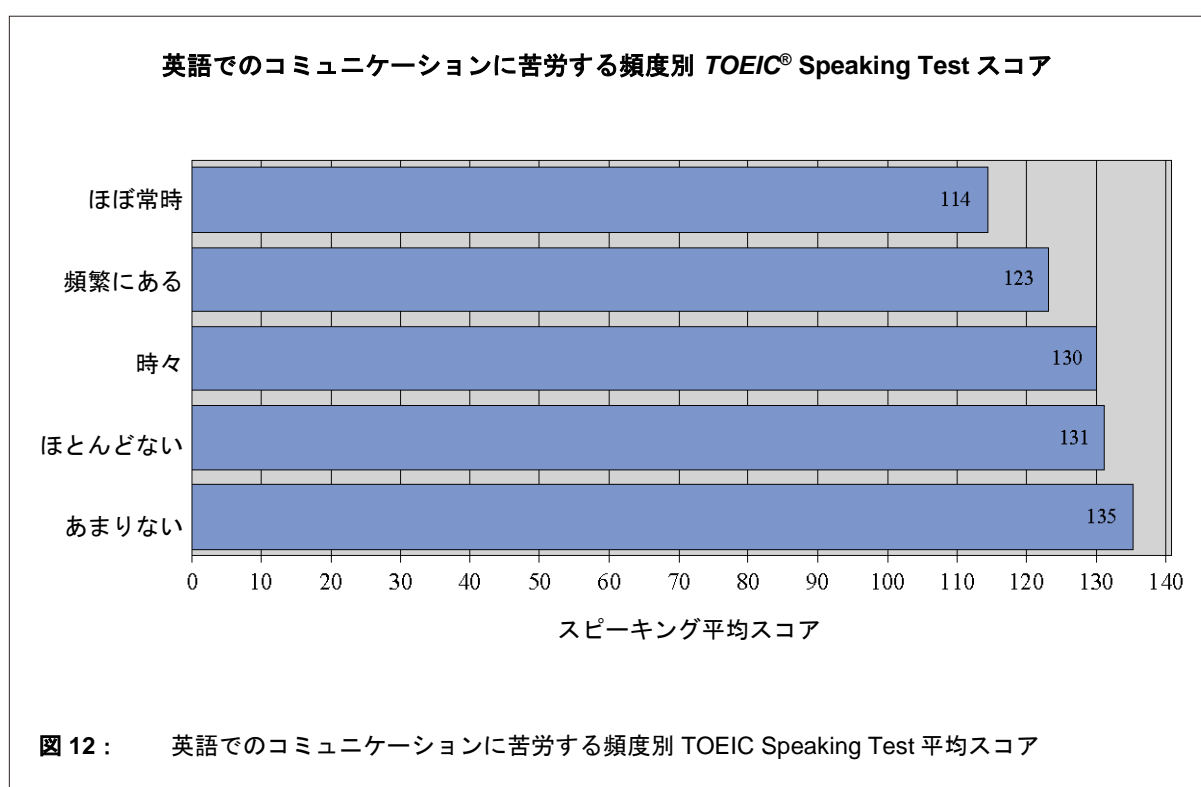
「リスニング&スピーキング」の2技能を挙げた受験者の割合は、男性（18%）よりも女性（21%）の方が高くなっています。



英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の46%が「時々」、22%が「頻繁にある」、15%が「あまりない」と答えました。

「ほとんどない」という回答が大部分を占めたのは、パナマ（76%）、ベトナムおよびエルサルバドル（いずれも62%）です。

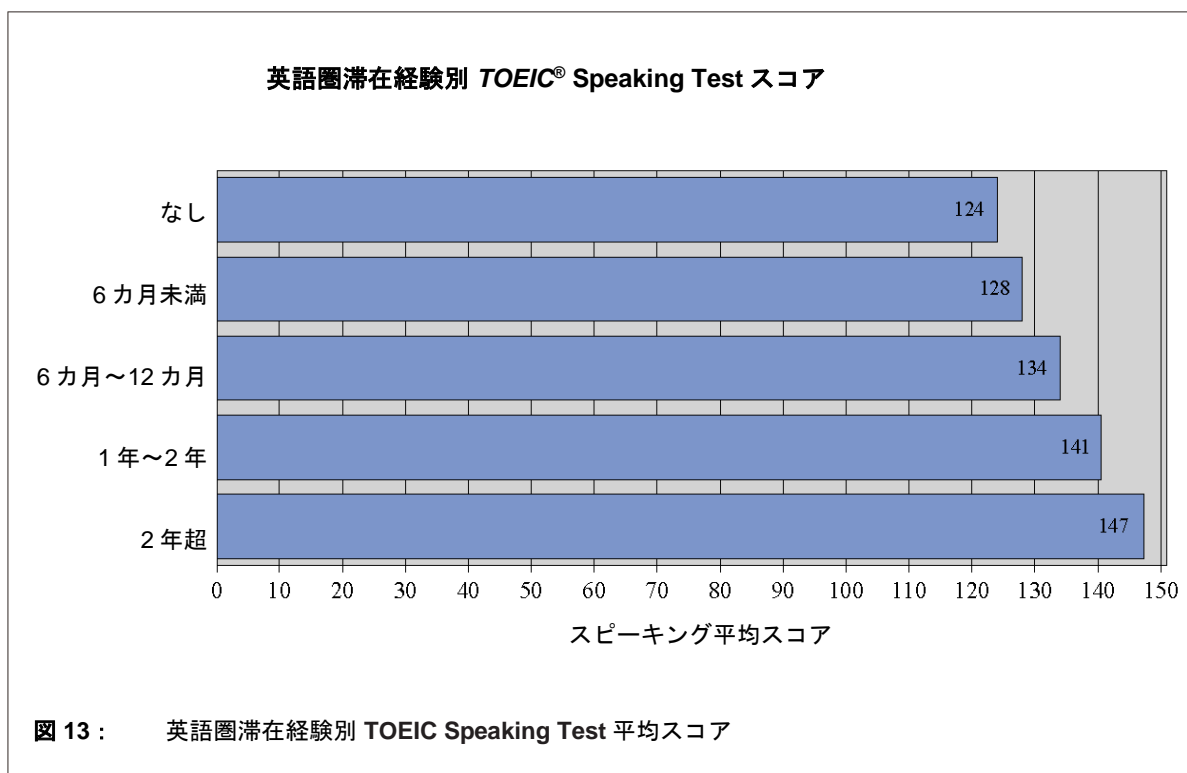


英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国・地域に滞在したことがありますか」という質問に対しては、受験者全体の約 18%が 6 カ月以上の滞在経験があると答え、58%は滞在経験がないと答えています。

英語圏に滞在した経験がないと答えた受験者が

大半を占める国・地域は、エルサルバドルおよびパナマ（いずれも 100%）、ベトナム（95%）です。2 年超の滞在経験があると答えた受験者が特に多い国・地域は、米国（76%）、シンガポール（57%）などです。



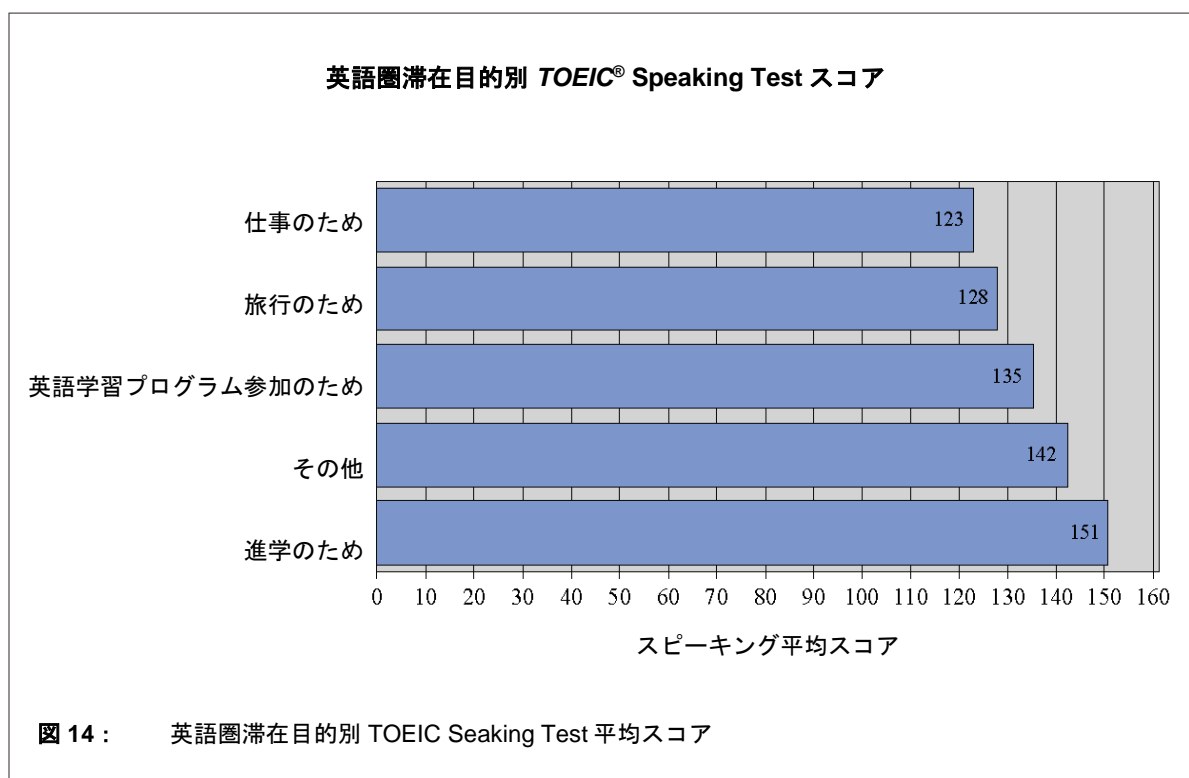
英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、受験者全体の36%が「旅行のため」、25%が「英語学習プログラム参加のため」と回答しました。

受験者の多くが「仕事のため」と答えた国・地域は、米国（83%）、アラブ首長国連邦（73%）、中国（73%）です。「進学のため」という回答が多いのは、インドネシア

（50%）、シンガポール（46%）、「旅行のため」という回答が多いのは、フィリピン（41%）、韓国（40%）となっています。

全体で見ると、「英語学習プログラム参加のため」という回答の割合は男性（21%）よりも女性（31%）、「仕事のため」の割合は女性（8%）よりも男性（23%）の方が高くなっています。

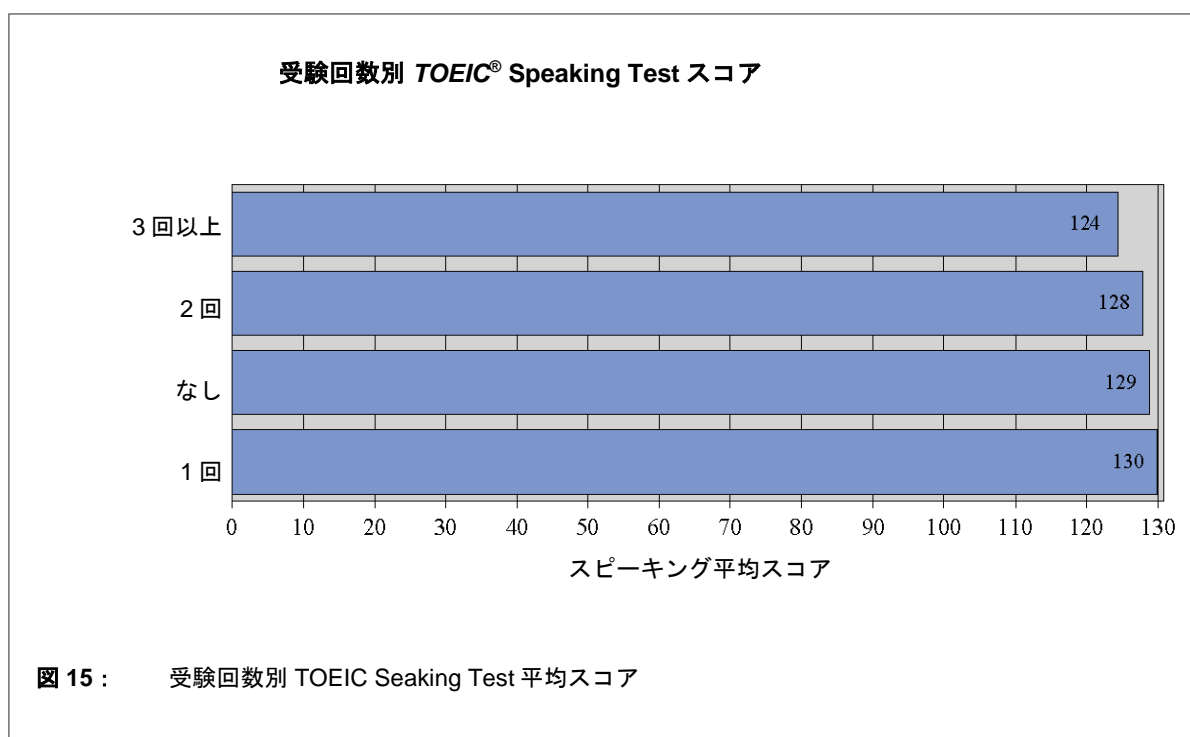


TOEIC® Speaking Test 受験経験

全体としては、受験者の61%が過去にもTOEIC® Speaking Testを受験した経験があり、およそ27%が「3回以上」受験しています。

TOEIC® Speaking Test 受験経験者の割合については、下はエルサルバドル（1%）から上はインドネシア（78%）まで、国・地域によって大きく差が出ました。

全体で見ると、TOEIC® Speaking Testの受験経験がないと答えた受験者の割合は、男性（34%）よりも女性（44%）の方が高くなりました。これに対して、過去に「3回以上」受験したことがあると答えた受験者の割合は、女性（20%）よりも男性（32%）の方が高くなっています。



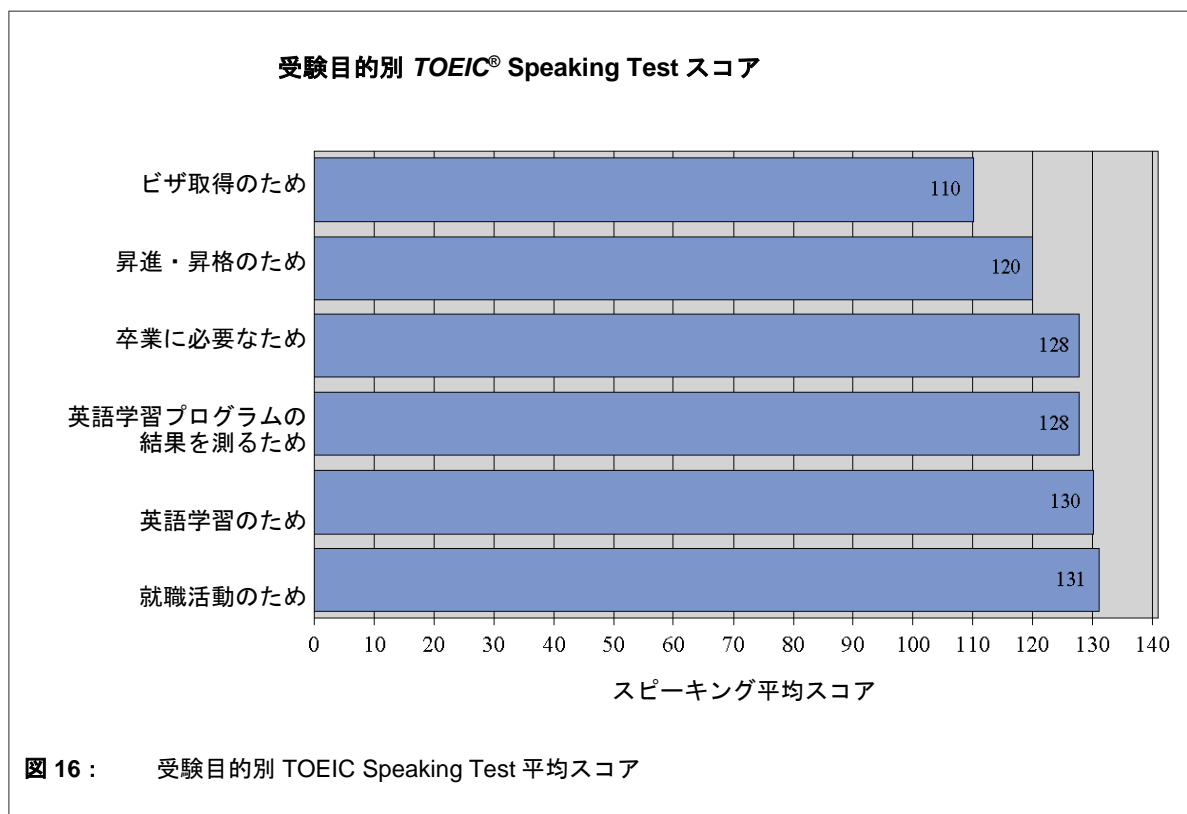
TOEIC® Speaking Test 受験目的

TOEIC® Speaking Test の受験目的として多く挙げられたのは、「就職活動のため」(47%)と「昇進・昇格のため」(25%)です。

「就職活動のため」と答えた受験者が大部分を占める国・地域としては、パナマ(75%)、ベトナム(71%)、エルサルバドル(57%)、コスタリカ(51%)、韓国(50%)が挙げられます。タイでは、「昇進・昇格のため」と答えた受験者が大半を占めました(58%)。「英語学

習のため」という回答が多い国・地域はシンガポール(56%)と日本(48%)、「卒業に必要なため」が多い国・地域はフィリピン(57%)とインドネシア(54%)です。

「就職活動のため」という回答の割合は男性(42%)よりも女性(54%)、「昇進・昇格のため」の割合は女性(17%)よりも男性(30%)の方が高くなっています。



2021年 TOEIC® Writing Test 受験者の特徴

バックグラウンド情報は、公開テストまたは団体特別受験制度により2021年 TOEIC® Writing Testを受けた受験者（TOEIC® Speaking TestとTOEIC® Writing Testの両方を受けた受験者、TOEIC® Writing Testのみを受けた受験者を含む）全員から収集しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる TOEIC® Writing Test 受験者の特徴です。受験者の回答率は質問項目によって異なりますのでご注意ください。

- 性別は47%が男性
- 学歴（最終学歴または受験時在学）で最も多いのは大学卒または大学在学中（50%）
- 専攻で最も多いのは「教養学」で31%、「工学」が14%、「経営学」が18%
- 53%が「フルタイム勤務者」で、30%は「全日制学生」
- 就業者の業種は29%が「サービス業」で、21%が「製造業」
- 職種は21%が「経営者」、13%が「事務職」、12%が「科学／技術職」
- 70%が6年以上の英語学習経験あり
- 英語学習において最も重視される技能としては、29%が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、32%が「1～10%」と回答
- 最も使用する英語技能としては、28%が「リスニング」を、21%が「リーディング」を選択
- 41%は英語でのやりとりに「時々」苦勞すると回答
- 63%は英語圏滞在経験なし
- 英語圏滞在目的としては、48%が「進学のため」または「語学プログラム参加のため」を選択
- 過去の受験経験は68%が「なし」
- 受験目的については、30%が「就職活動のため」、27%が「英語学習のため」、21%が「卒業に必要なため」と回答

国・地域別 TOEIC® Writing Test 平均スコア

以下の図 17 は、国・地域別の TOEIC® Writing Test スコアの平均と標準偏差を示しています。次ページの表 3 は、受験者が受験した国・地域別の平均スコアを集計したものです。ただし、受験者が TOEIC® Writing Test を受験した国・地

域は、受験者の母国と必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、この表には TOEIC® Writing Test 受験者が 50 名以上の国のみ掲載されています。

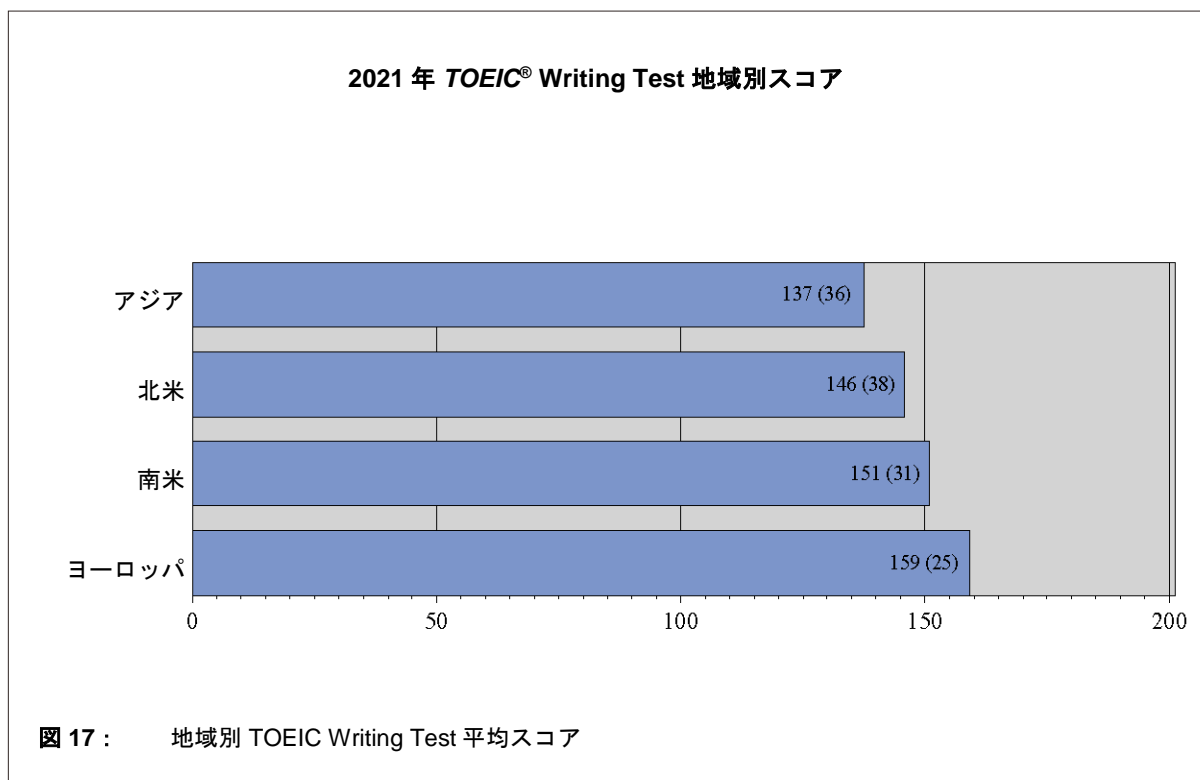


表 3 : TOEIC® Writing Test 受験者の国・地域別平均スコア

国・地域名	ライティング	
	平均	(SD)*
チリ	149	(31)
中華人民共和国	147	(26)
コロンビア	157	(30)
コスタリカ	147	(43)
エクアドル	147	(33)
エルサルバドル	155	(19)
フランス	165	(22)
ドイツ	164	(27)
香港	118	(49)
インドネシア	138	(23)
イタリア	158	(23)
日本	132	(35)
ヨルダン	123	(46)
韓国	148	(30)
メキシコ	160	(26)
オランダ	160	(23)
パナマ	143	(27)
フィリピン	171	(20)
シンガポール	145	(22)
スペイン	158	(26)
台湾	158	(22)
米国	90	(54)
ベトナム	130	(36)

*SD=標準偏差

TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別集計

表 4 は、カテゴリー別に分けられた TOEIC® Writing Test 受験者の人数割合 (%) と TOEIC® Writing Test の平均スコアを示しています。各カテゴリーの TOEIC® Writing Test 受験者に関する

詳細な情報は表 4 の後に示されています。

本報告書で使用されるカテゴリーはバックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
性別	女性	52.9	146	(34)
	男性	47.1	148	(32)
専攻科目	小学校	7.8	123	(41)
	中学校	4.1	118	(45)
	高校	11.2	137	(37)
	高専	1.1	126	(42)
	専門学校	2.1	136	(34)
	短大	4.4	134	(33)
	大学	49.6	155	(27)
	大学院	18.6	156	(25)
	語学学校	1.1	138	(36)
専攻科目	教養学	31.2	145	(33)
	社会学	9.8	150	(32)
	経営学	17.9	149	(30)
	科学	7.8	148	(31)
	医療関連	4.7	148	(32)
	工学	14.1	150	(29)
	その他	14.5	134	(41)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
就業状況	フルタイム勤務者	52.8	145	(32)
	パートタイム勤務者	7.8	141	(41)
	非就業者	9.7	151	(35)
	全日制学生	29.7	152	(31)
業種	農業	13.4	129	(38)
	建設	1.9	137	(39)
	食品	1.8	133	(44)
	医薬品	1.4	144	(30)
	化学	1.4	144	(29)
	繊維	0.3	137	(43)
	石油	1.4	157	(20)
	金属	1.1	140	(27)
	機械	2.3	141	(28)
	電機	3.5	142	(29)
	自動車	3.3	148	(28)
	ガラス			
	アパレル	2.4	140	(34)
	その他製造	1.9	143	(33)
	教育機関 (高校以下)	6.3	156	(29)
	教育機関 (大学以上)	3.4	160	(27)

*SD=標準偏差

注：サンプル数が少ないため、業種「ガラス」の受験者数についてはデータが得られませんでした。

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	ライティング	
		平均	(SD)*
業種 (続)	政府/役所/公益団体	2.9	152 (27)
	国際団体	0.6	161 (27)
	軍隊/自衛隊	2.0	155 (28)
	医療	2.7	145 (34)
	旅行	2.4	141 (35)
	その他サービス	9.1	147 (31)
	公共事業 (電気/ガス)	1.0	147 (30)
	マスコミ	0.8	150 (32)
	通信	1.8	151 (28)
	小売/卸し	1.4	144 (34)
	商社	4.2	141 (31)
	金融	10.1	147 (27)
	保険	0.9	140 (36)
	不動産	0.8	144 (34)
	運輸	2.4	148 (30)
	その他	10.8	143 (39)

職種	経営者	21.2	137 (36)
	科学/技術職	12.4	149 (27)
	教師/講師	11.6	154 (30)
	専門職	9.1	150 (28)
	技術者	4.1	136 (34)
	マーケティング/販売	10.2	145 (30)
	事務職	13.0	143 (32)
	サービス業	8.8	145 (33)
	その他	9.7	137 (43)

英語学習期間	4年以下	19.5	127 (41)
	4年超~6年	10.4	140 (35)
	6年超~10年	19.0	149 (29)
	10年超	51.1	157 (26)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリ別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
最も重視する言語技能	リスニング	21.1	140	(35)
	リーディング	12.1	149	(32)
	スピーキング	14.0	143	(34)
	ライティング	3.5	148	(34)
	リスニング&スピーキング	13.1	145	(34)
	リーディング&ライティング	6.8	157	(29)
	リスニング、リーディング、スピーキング &ライティング	29.3	154	(30)

日常生活での英語使用率	なし	16.1	133	(36)
	1~10%	32.3	143	(34)
	11~20%	24.9	150	(31)
	21~50%	18.1	157	(28)
	51~100%	8.6	164	(26)

最も使用する英語技能	リスニング	28.2	142	(34)
	リーディング	21.4	150	(30)
	スピーキング	10.7	143	(36)
	ライティング	5.3	152	(31)
	リスニング&スピーキング	10.1	145	(35)
	リーディング&ライティング	9.9	154	(29)
	リスニング、リーディング、スピーキング &ライティング	14.3	154	(31)

英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	ほとんどない	20.6	146	(38)
	あまりない	22.4	155	(29)
	時々	40.9	149	(29)
	頻繁にある	11.7	140	(32)
	ほぼ常時	4.5	123	(43)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	ライティング	
		平均	(SD)*
英語圏滞在期間	なし	62.8	145 (34)
	6 カ月未満	17.8	147 (31)
	6 カ月～12 カ月	6.5	151 (31)
	1 年～2 年	4.3	154 (29)
	2 年超	8.5	160 (28)

英語圏滞在目的	進学のため	27.9	157 (29)
	英語学習プログラム参加のため	20.3	150 (27)
	旅行のため	19.2	146 (32)
	仕事のため	21.6	149 (30)
	その他	11.0	156 (34)

TOEIC S&W 受験回数	なし	67.9	148 (33)
	1 回	17.1	147 (33)
	2 回	6.0	145 (33)
	3 回以上	9.0	145 (30)

TOEIC S&W 受験目的	就職活動のため	29.7	146 (34)
	昇進・昇格のため	13.2	142 (31)
	英語学習プログラムの結果を測るため	8.9	148 (33)
	英語学習のため	26.5	149 (32)
	卒業に必要なため	21.2	150 (33)
	ビザ取得のため	0.4	126 (43)

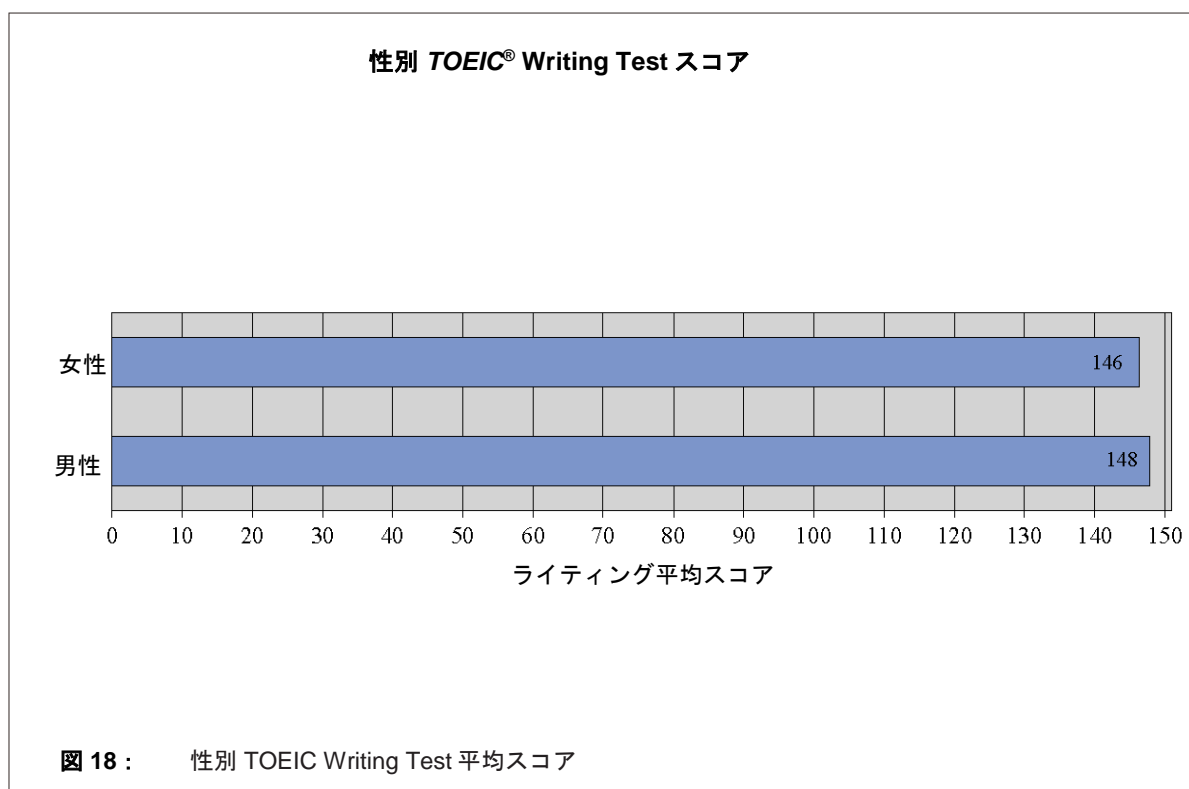
*SD=標準偏差

性別

全体として、TOEIC® Writing Test 受験者の性別の割合は、男性（47%）よりも女性（53%）が高くなっています（表 4 参照）。インドネシアでは全体の 81%が男性で 19%が女性、米国では 92%が男性、韓国では 57%が男性です。ただ、女性受験者の割合が高い国・地域もありました。例えば、エクアドルでは 69%、パナマでは

61%、ベトナムでは 60%を女性が占めています。性別として「その他」を選択した受験者もいました。

図 18 が示すように、ライティングスコアの平均は女性より男性のほうが若干高い結果となりました。

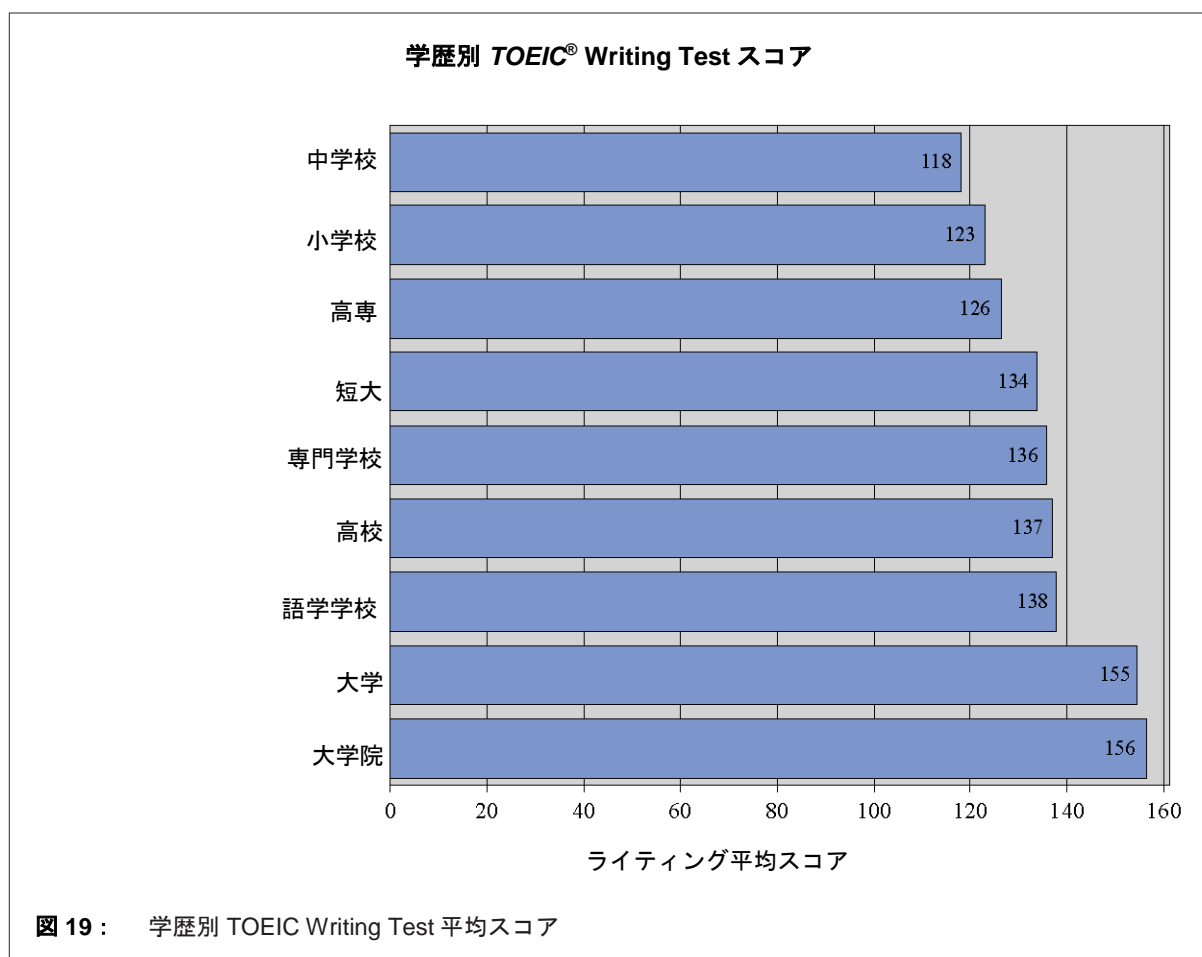


学歴

受験者の大半の学歴は、バックグラウンドアンケート回答時点で大学卒（学士取得）または大学在学中となっています（50%）。国・地域によって教育システムが異なるため、学歴について一律に国別で比較することはできませんが、大学卒または大学在学中の受験者の割合が最も高い国は、フィリピン（91%）という結果になりました。それ以外に大学卒または大学在学中の受験者が多いのは、米国（71%）、韓国（70%）、メキシコ（64%）、日本（58%）、

台湾（54%）です。大学院卒または大学院在学中と答えた受験者が多い国・地域としては、フランス（49%）が挙げられます。一部の国では、小学校卒の受験者が大半を占めました。パナマ（60%）とエルサルバドル（56%）がその例です。

全体で見ると、大学・大学院卒または大学・大学院在学中の受験者の割合は、女性（62%）よりも男性（77%）の方が高くなっています。

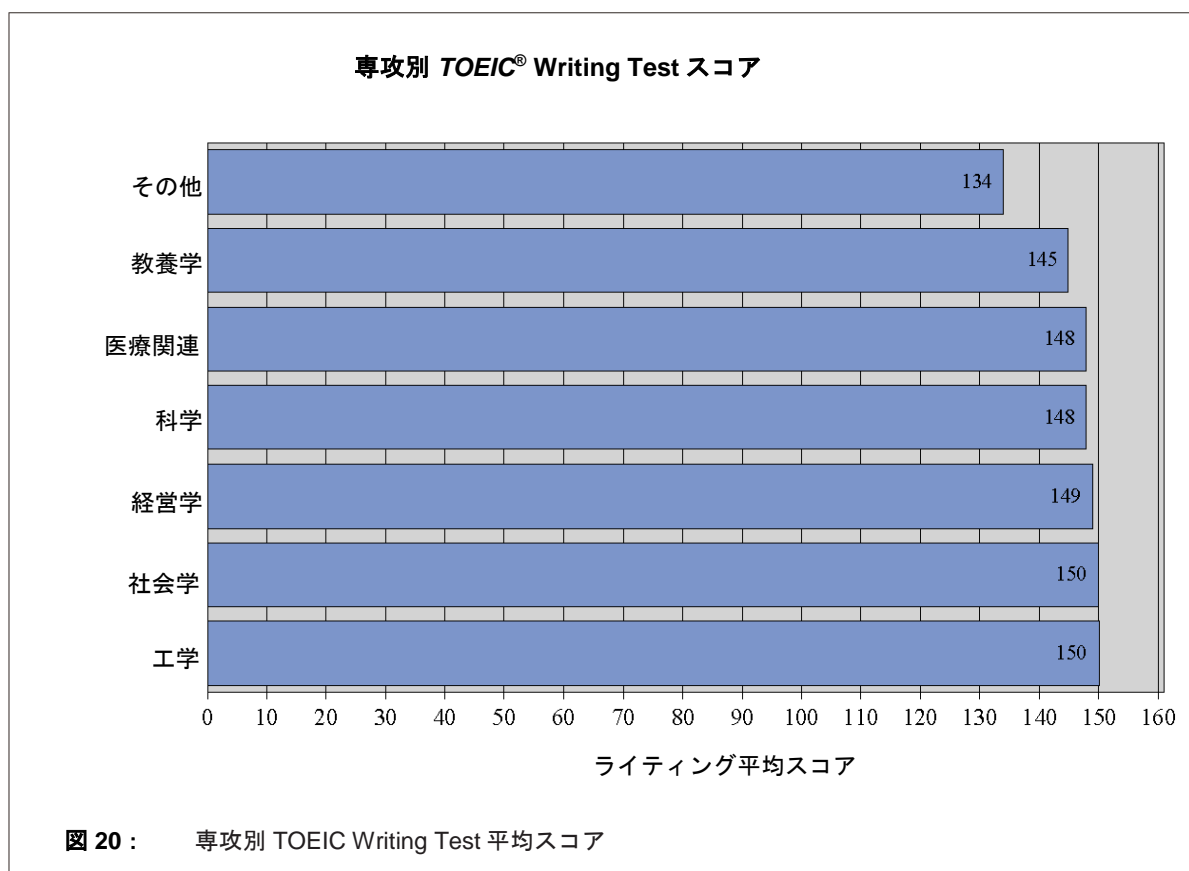


専攻科目

全体として、受験者の専攻科目で最も多いのは「教養学」(31%)です。パナマとベトナムでは、「教養学」専攻の受験者の割合がそれぞれ73%、69%に上ります。一部の国・地域では、「工学」専攻の受験者が多数を占めました。インドネシア(80%)とフィリピン(60%)がその例です。米国では、63%が「科学」専攻でし

た。

全体で見ると、「教養学」専攻の受験者の割合は男性(19%)よりも女性(41%)、「工学」専攻の割合は女性(6%)よりも男性(24%)の方が高くなっています。



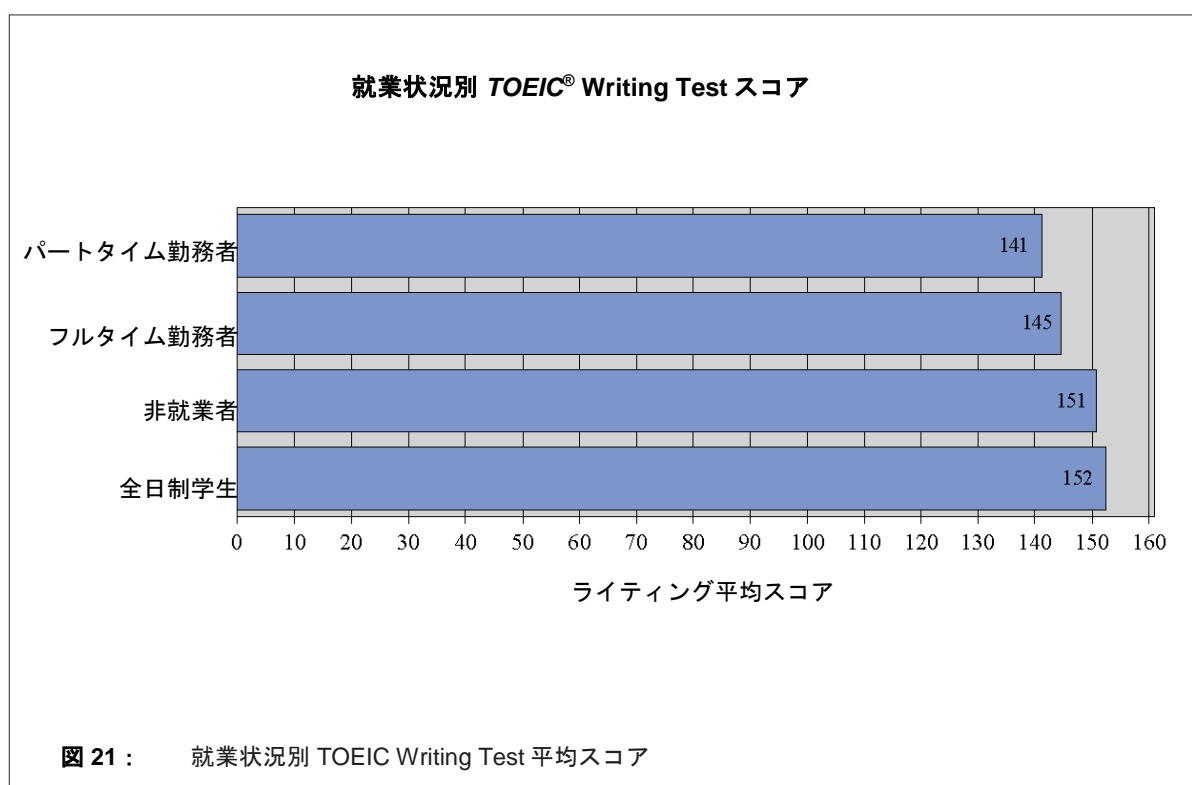
就業状況

全体で見ると、TOEIC® Writing Test の受験者の多くが「フルタイム勤務者」でした（53%）。「フルタイム勤務者」の割合が特に高い国・地域としては、米国（97%）、中国（93%）、ヨルダン（87%）、ベトナム（80%）、メキシコ（79%）、エクアドル（79%）などが挙げられます。

受験者の 30% は「全日制学生」でした。「全日

制学生」が受験者の大半を占める国・地域は、フィリピン（81%）とシンガポール（86%）です。

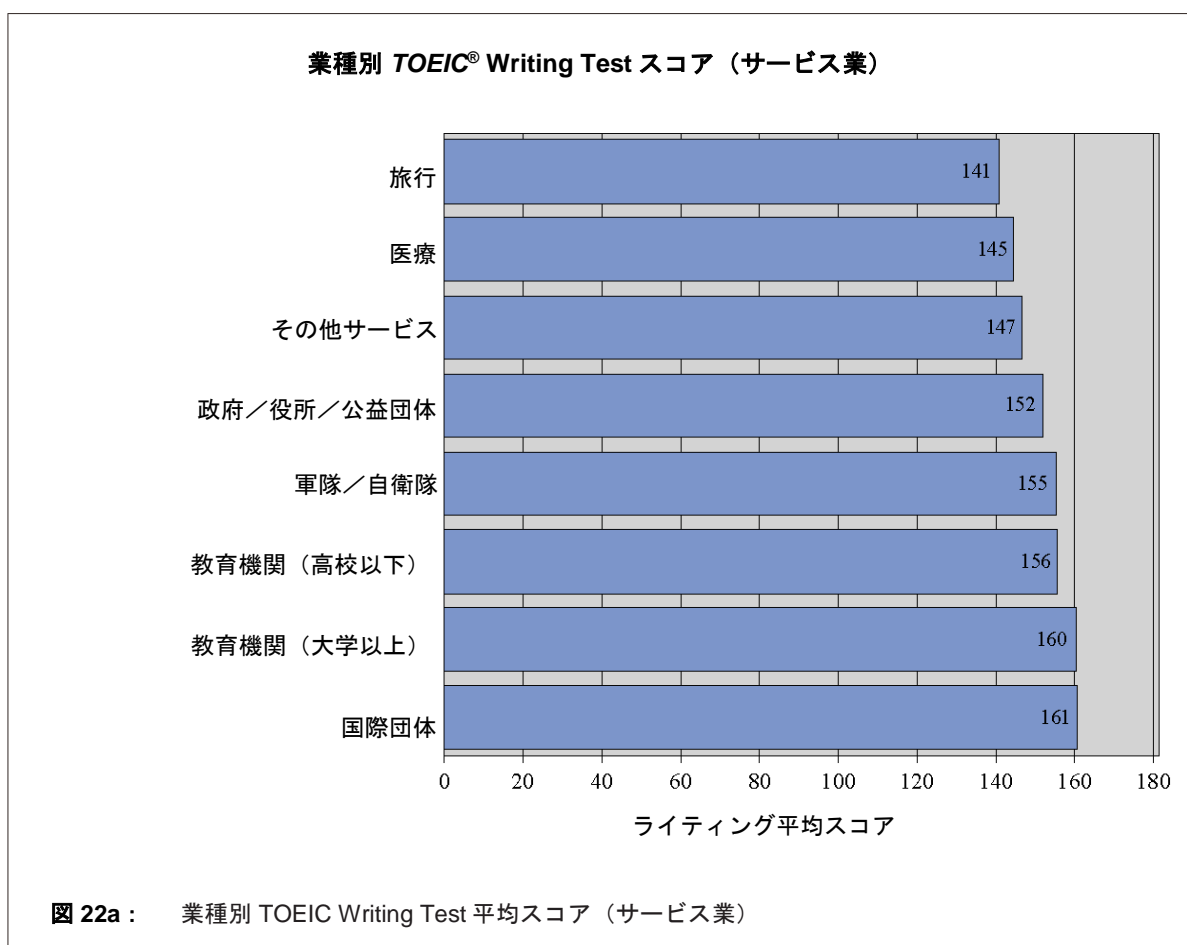
全体で見ると、「フルタイム勤務者」の割合は女性（48%）よりも男性（57%）、「全日制学生」の割合は男性（27%）よりも女性（33%）の方が高くなっています。

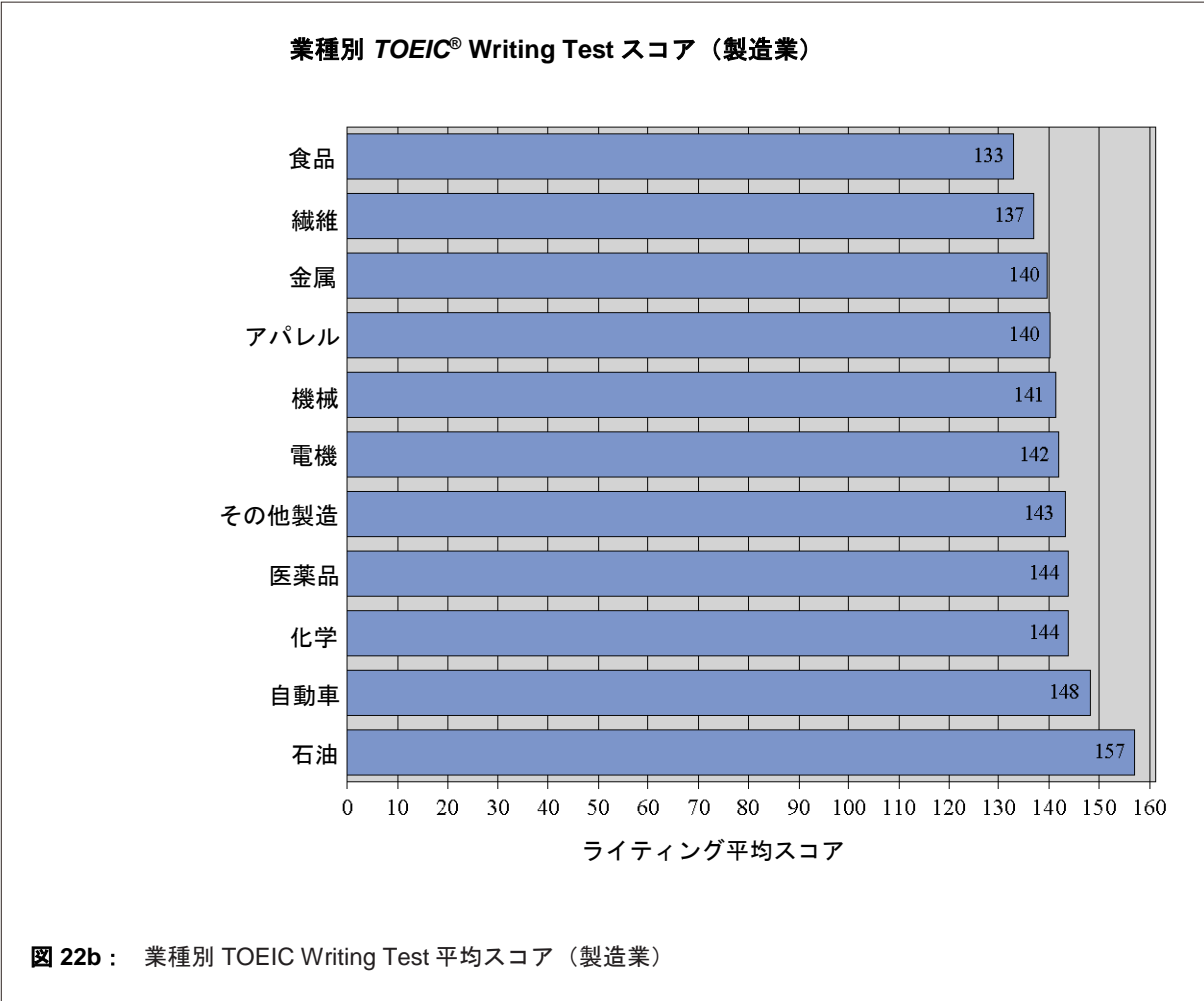


業種

表 4に見られるように、ほとんどのフルタイム勤務者は「製造業」もしくは「サービス業」に従事しています。

図 22a（サービス業）、22b（製造業）、22c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC® Writing Test の平均スコアを業種別に表したものです。





注：サンプル数が少ないため、業種「ガラス」の平均スコアについてはデータが得られませんでした。

業種別 TOEIC® Writing Test スコア（その他）

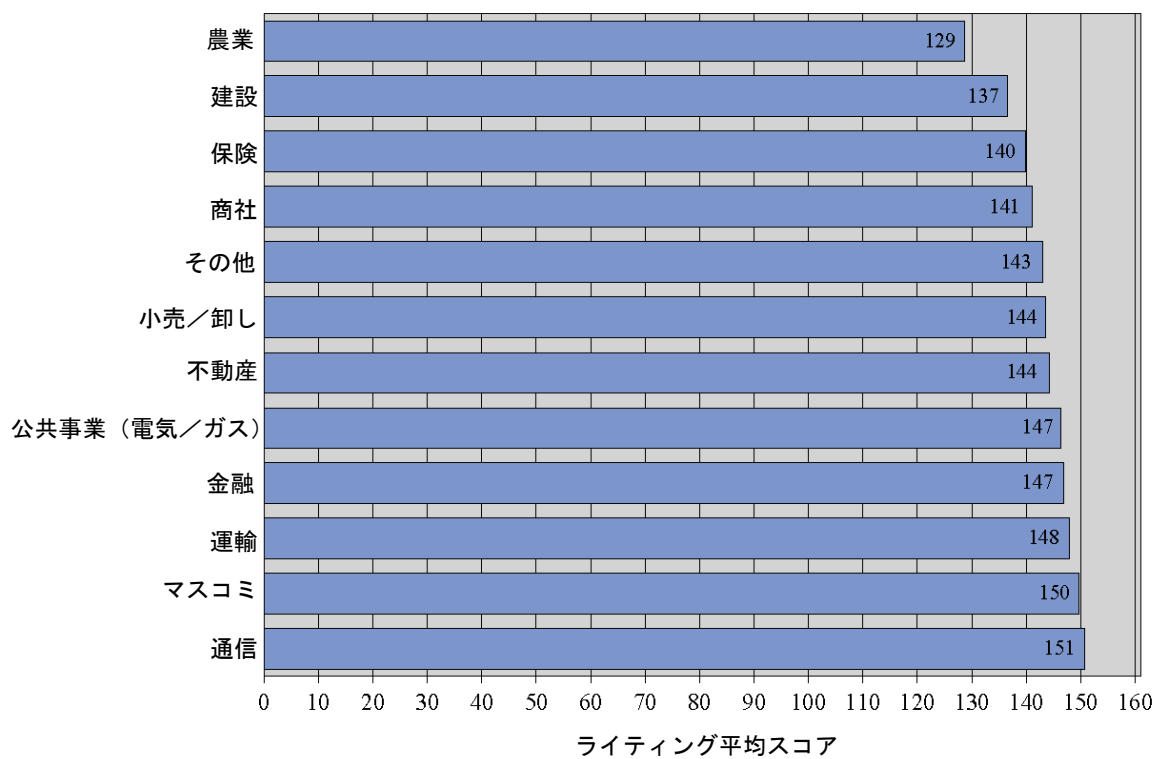


図 22c : 業種別 TOEIC Writing Test 平均スコア（その他）

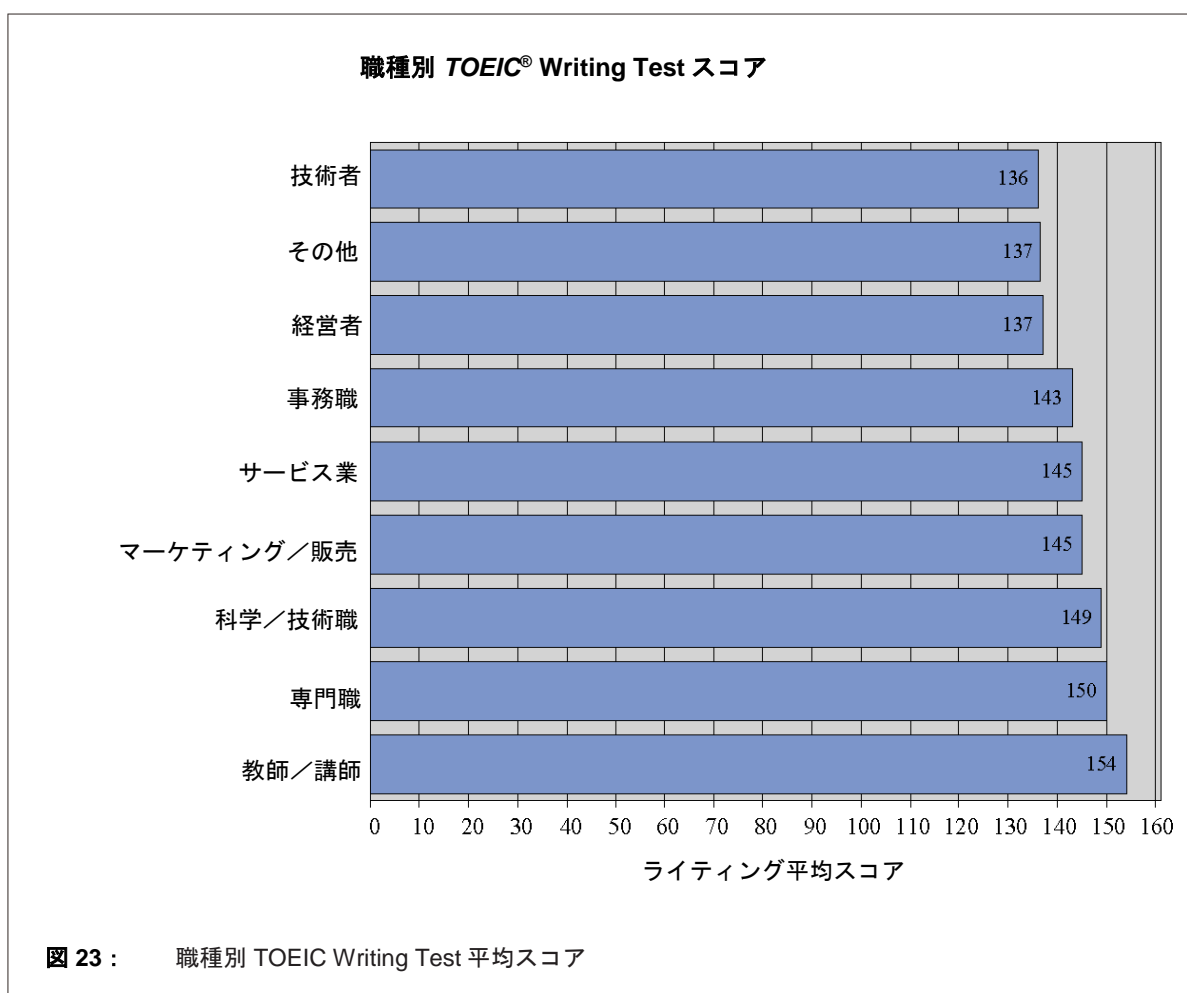
職種

受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。受験者全体では、「経営者」(21%)、「事務職」(13%)、「科学／技術職」(12%)の割合が上位を占めました。

「経営者」の割合が特に高い国・地域としては、エルサルバドルおよびパナマ（いずれも99%）、ベトナム（73%）が挙げられます。

「事務職」の割合が高いのは韓国（39%）です。フィリピンでは「科学／技術職」が32%を占めました。

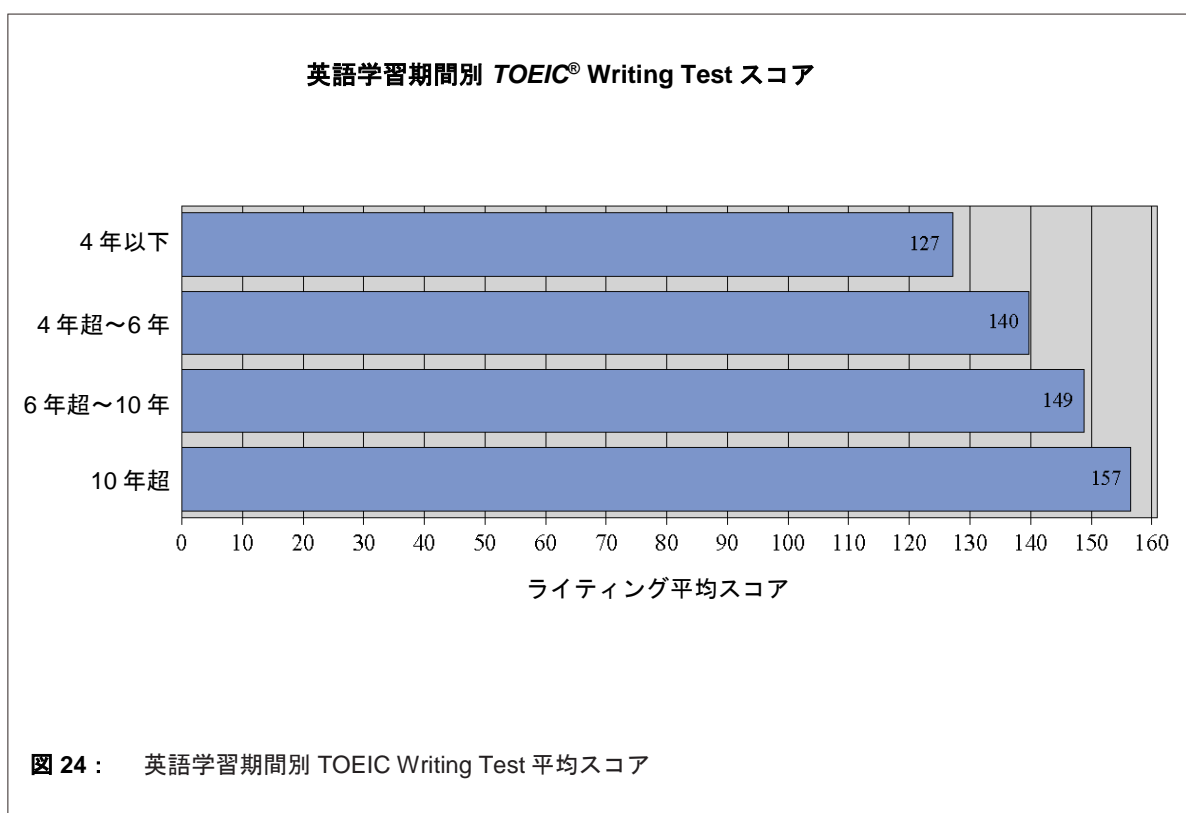
全体で見ると、「教師／講師」は女性（16%）の方が男性（8%）よりも多く、「事務職」も女性（16%）の方が男性（11%）よりも多くなっています。「科学／技術職」の割合は、女性（6%）よりも男性（19%）の方が高い結果となりました。



英語学習期間

2021年の受験者全体の70%は、6年以上の英語学習経験があると答えています。ただし、「4年以下」という回答が多い国・地域もありました。パナマ（99%）、エルサルバドル（98%）、米国（69%）です。

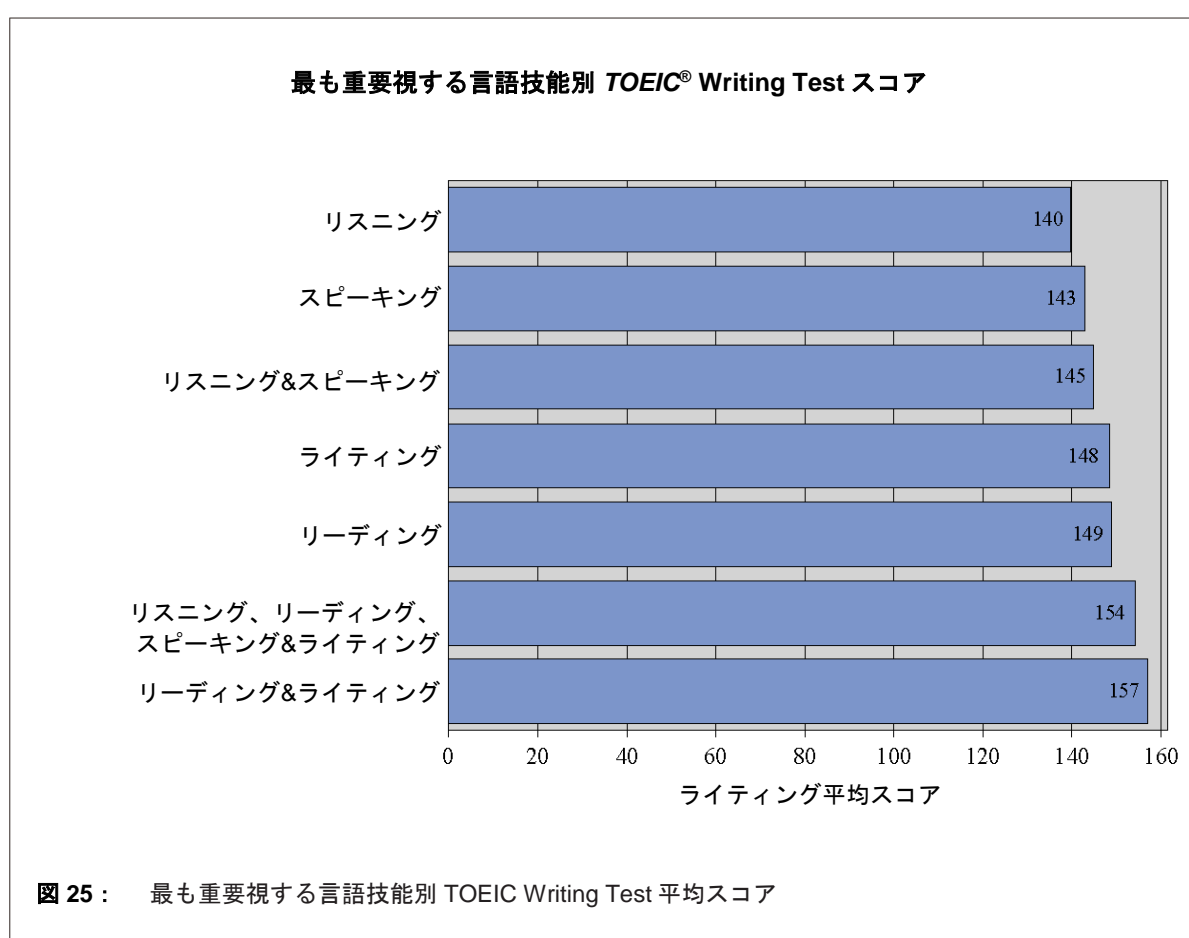
全体で見ると、「4年以下」と答えた受験者の割合は男性（16%）よりも女性（20%）の方が高く、「10年超」と答えた割合は女性（51%）よりも男性（54%）の方が高い結果となりました。



英語学習の際に最も重要視する言語技能

英語学習期間についての質問の後に、最も重要視する英語の技能について尋ねました。受験者全体の29%は、英語の4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重視すると回答しています。

韓国では59%の受験者が英語学習の際に4技能すべてを重要視すると回答しました。これに対して、最も重要視する技能として「リスニング」を挙げた受験者が多い国・地域は、パナマ（78%）、ベトナム（69%）、エルサルバドル（57%）となっています。インドネシアでは、「リーディング」を最も重要視すると答えた受験者の割合が最も高くなりました（32%）。

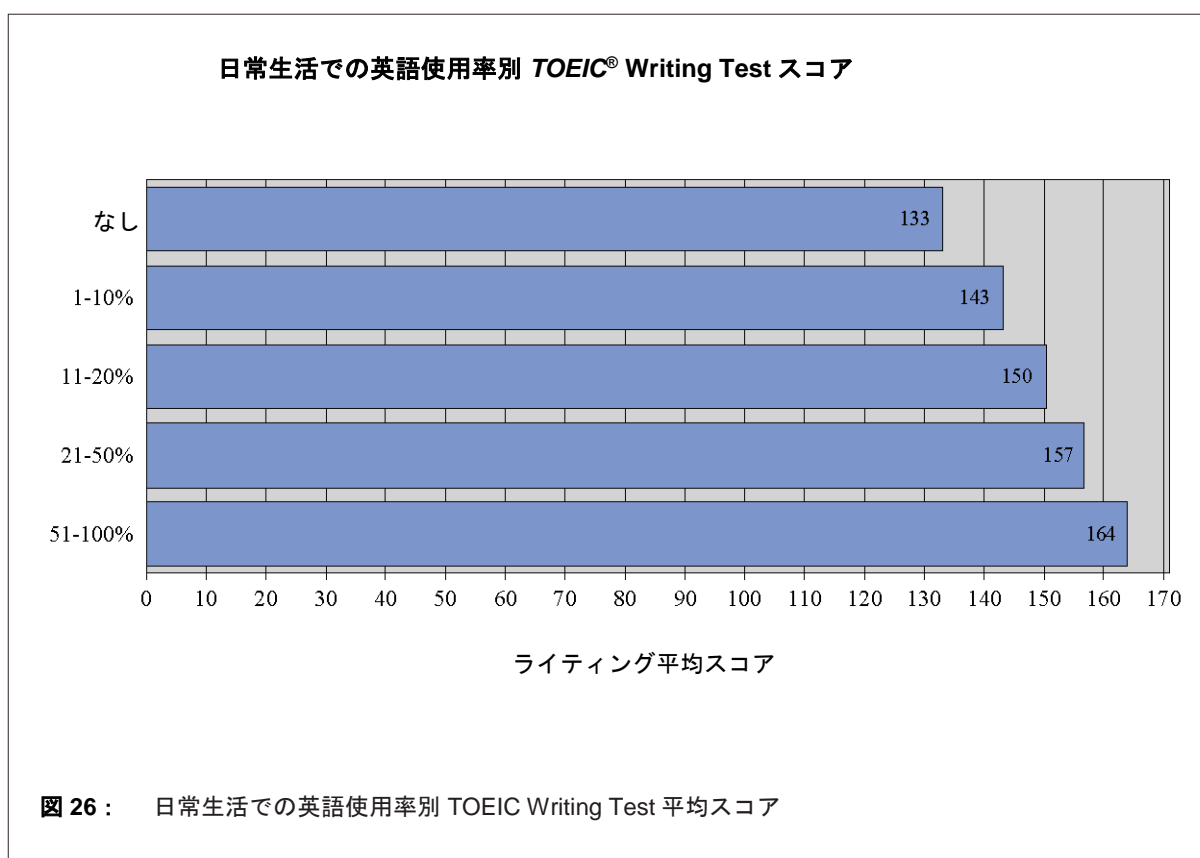


日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の32%が「1～10%」と回答しました。このように回答した受験者が多い国・地域としては、インドネシア（63%）、中国（49%）、シンガポール（44%）、日本（40%）などが挙げ

られます。

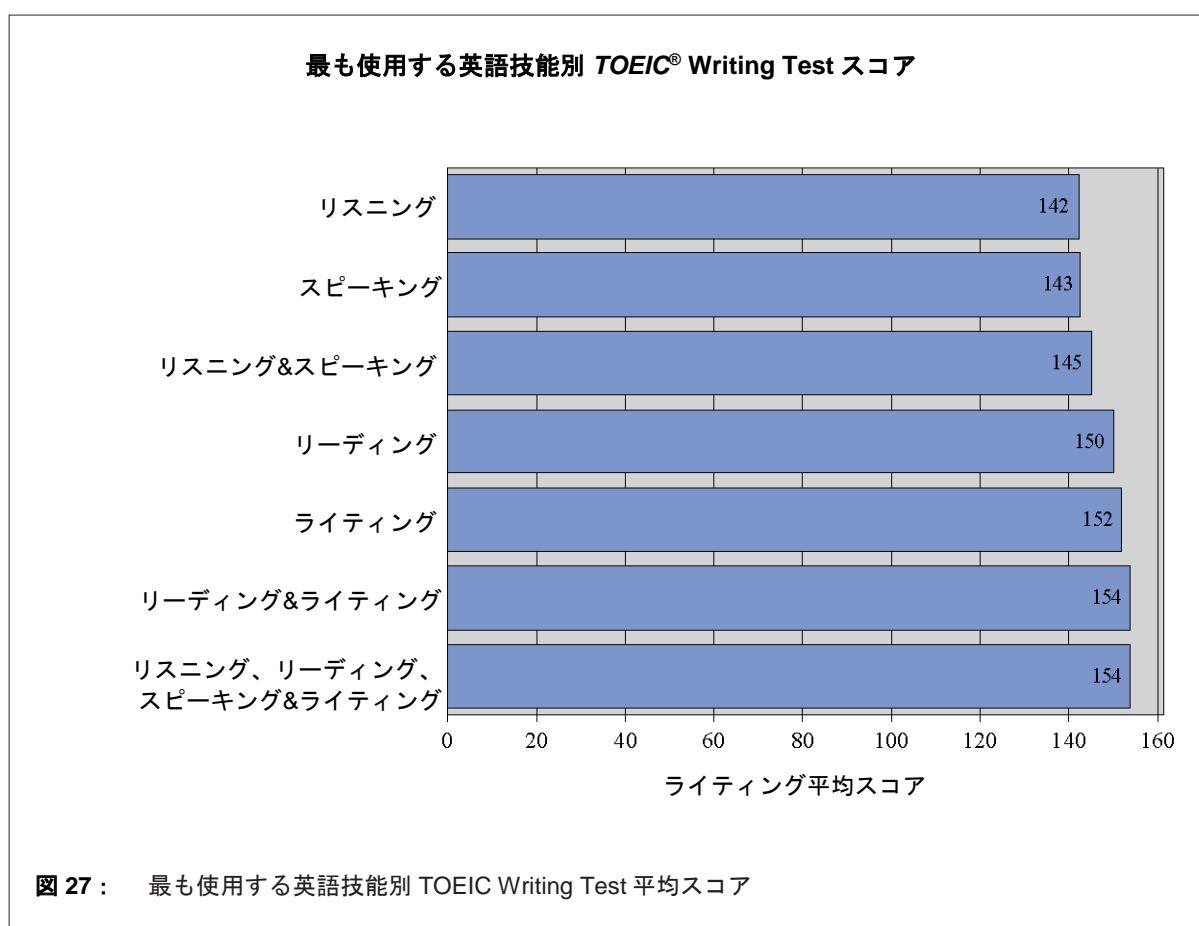
日常生活で英語を使用しないという回答が大半を占めたのは、パナマ（73%）とエルサルバドル（56%）、「51～100%」の割合で英語を使用するという回答の割合が最も高かったのは、米国（43%）となっています。



最も使用する言語能力

受験者全体の28%が、最も使用する英語技能として「リスニング」を挙げました。「リスニング」を選んだ受験者の割合が特に高い国・地域は、パナマ（80%）、ベトナム（67%）、エルサルバドル（65%）です。受験者全体の21%は、最も使用する技能として「リーディング」を挙げています。「リーディング」を選んだ受験者が多い国・地域は、中国（43%）、台湾

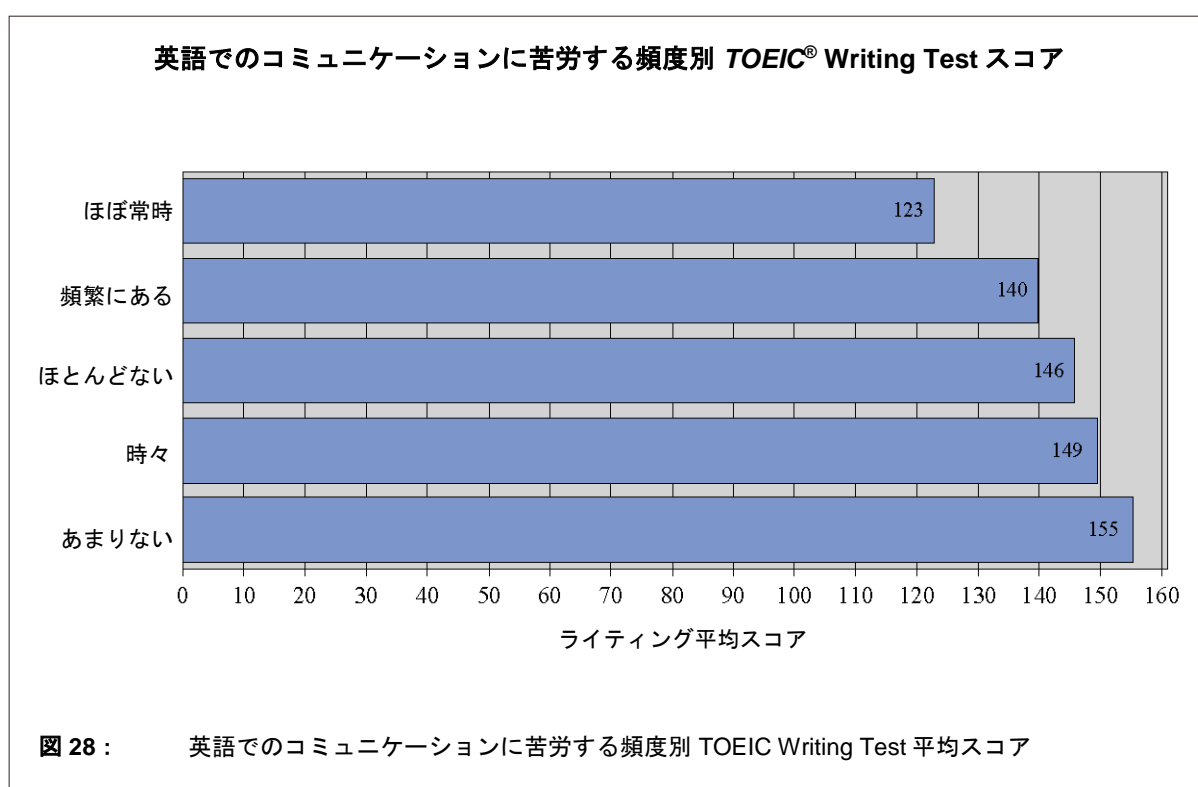
（33%）、チリ（32%）などです。4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を使用していると回答した受験者の割合は全体の14%でした。ヨルダンと韓国では、4技能すべてを頻繁に使用していると答えた受験者が多数を占めています（それぞれ33%、29%）。



英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の41%が「時々」、22%が「あまりない」、21%が「ほとんどない」と答えました。

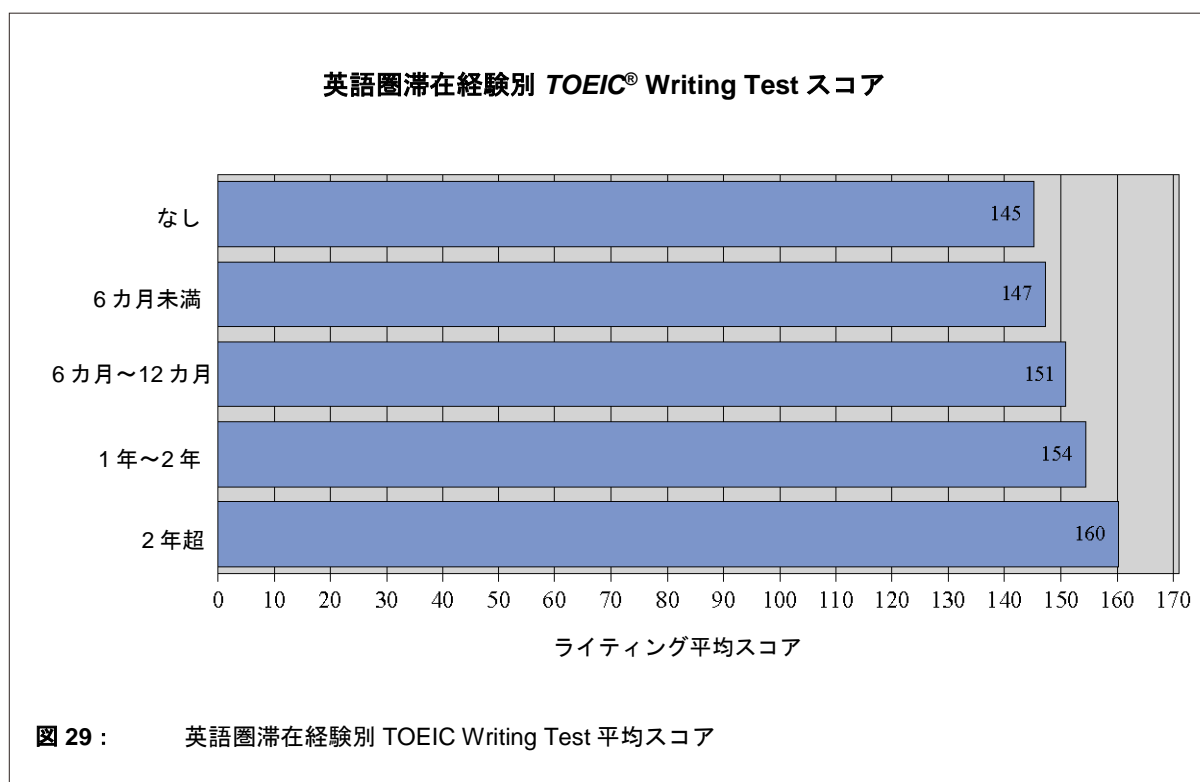
「ほとんどない」という回答が大部分を占めた国・地域は、パナマ（76%）、ベトナム（64%）、エルサルバドル（62%）です。



英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国・地域に滞在したことがありますか」という質問に対しては、6カ月以上の滞在経験があると回答した受験者の割合は全体の19%にとどまり、63%は滞在経験がないと答えています。

2年超の滞在経験があると答えた受験者の割合が特に高い国・地域は、米国（77%）とシンガポール（58%）です。



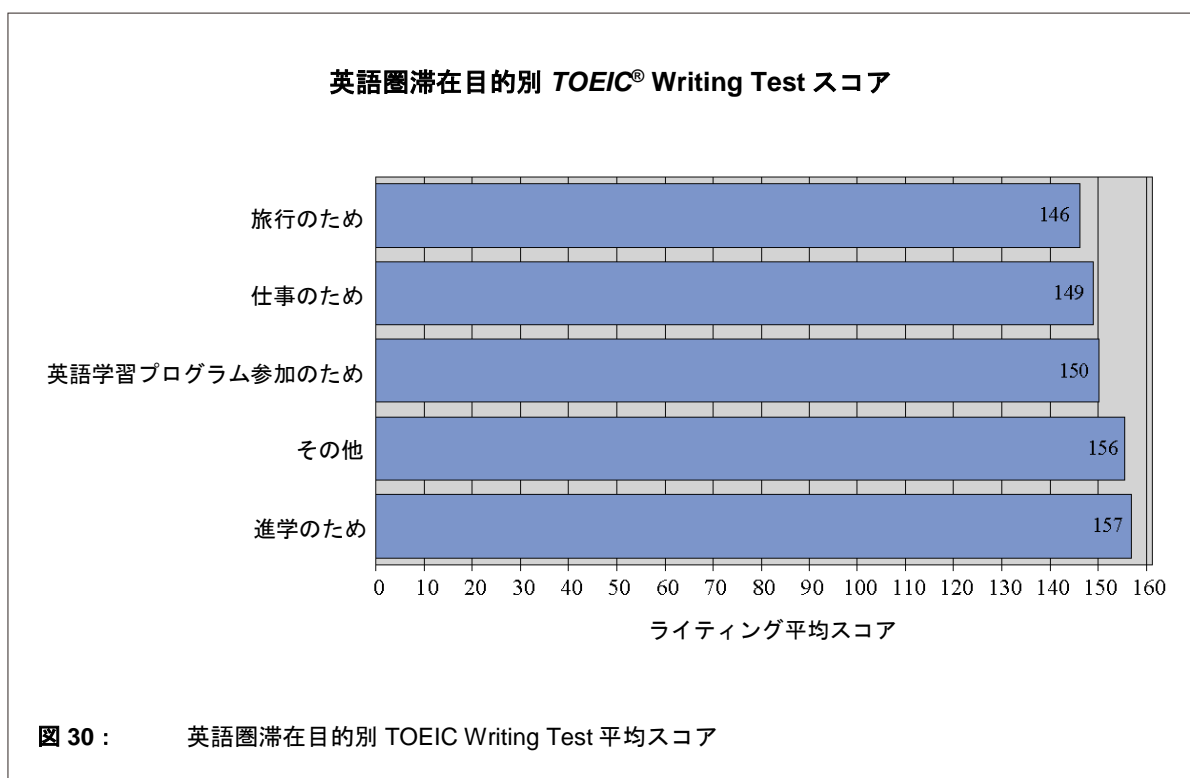
英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、48%の受験者が「進学のため」もしくは「英語学習プログラム参加のため」と回答しました。

ヨルダンと中国では、「進学のため」という回答の割合がそれぞれ54%と53%を占めています。「旅行のため」という回答が多かったのはフィリピン（42%）です。「仕事のため」とい

う回答の割合は、米国が最も高い結果となりました（88%）。

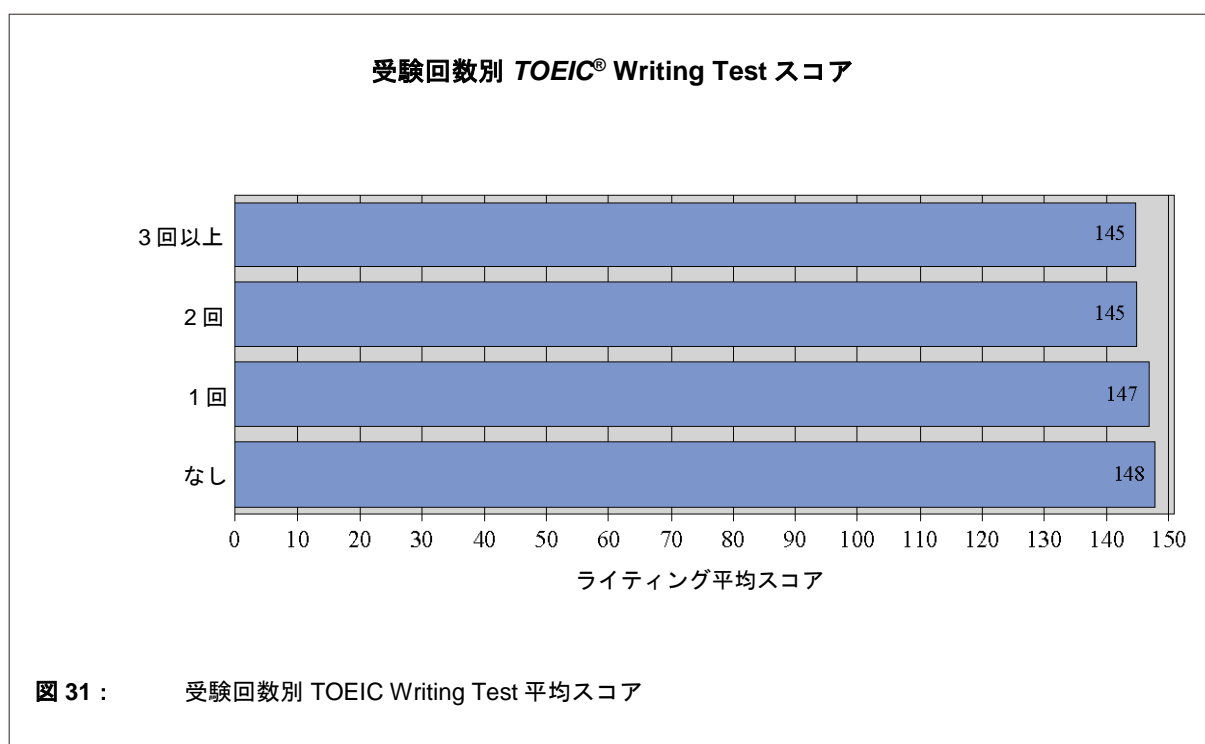
全体で見ると、「英語学習プログラム参加のため」という回答の割合は男性（17%）よりも女性（24%）、「仕事のため」の割合は女性（14%）よりも男性（28%）の方が高くなっています。



TOEIC® Writing Test の受験経験

TOEIC® Writing Test 受験経験者の割合については、下はエルサルバドル（1%）から上はインドネシア（78%）まで、国・地域によって大きく差が出ました。

全体で見ると、TOEIC® Writing Test の受験経験がないと答えた受験者の割合は、男性（63%）よりも女性（70%）の方が高くなっています。これに対して、過去に「3回以上」受験したことがあると答えた受験者の割合は、女性（7%）よりも男性（12%）の方が高くなっています。

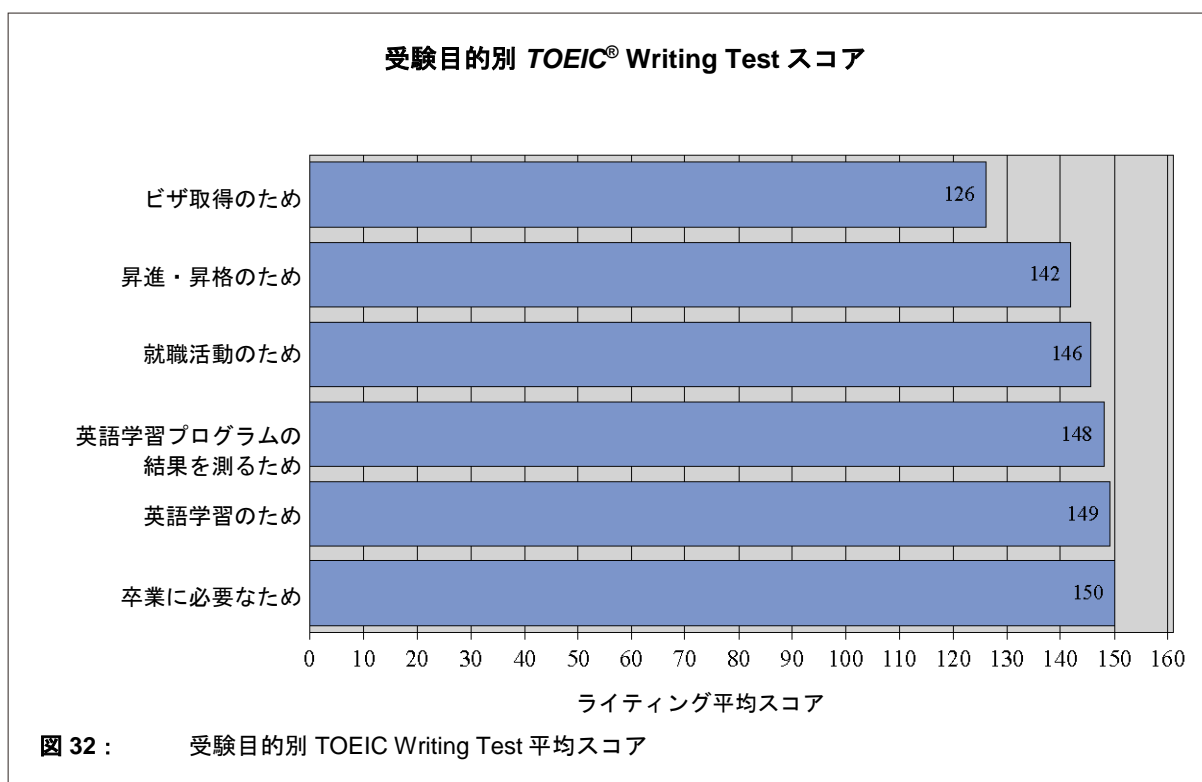


TOEIC® Writing Test 受験目的

TOEIC® Writing Test の受験目的として多く挙げられたのは、「就職活動のため」(30%)、「英語学習のため」(27%)、「卒業に必要なため」(21%)です。韓国では受験者の多くが「昇進・昇格のため」に受験したと回答しました(45%)。「就職活動のため」と答えた受験者が多い国・地域としては、パナマ(75%)、ベトナム(72%)、ヨルダン(63%)、エルサルバドル(57%)が挙げられます。

シンガポールでは、「英語学習のため」と答えた受験者が60%を占めました。

全体で見ると、「昇進・昇格のため」と答えた受験者の割合は女性(11%)よりも男性(16%)の方が高く、「就職活動のため」と答えた割合は男性(26%)よりも女性(30%)の方が高くなっています。



スピーキングスコアとライティングスコアの関連性

TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の相関値は、両方のテストを受けた受験者のデータに基づく計算によると、約 0.78 でした(資料 C に、地域別のスピーキング&ライティングの相関値を掲載)。これは 2 つの評価尺度の間に中程度の相関関係があることを示していま

す。TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test はいずれもビジネスコミュニケーションにおける英語の習熟度を測定するものですが、これらのテストはそれぞれ別個の語学技能を測定します。

資料 A



バックグラウンドアンケート

以下の質問と選択肢を読み、最も当てはまるものを選んでください。各質問に対し、回答は1つのみです。

セクション I.

学歴／職歴

- 現在在学中の学校または最終学歴を選んでください。
 - 小学校
 - 中学校
 - 大学進学向け高校またはそれと同等のレベル（高校）
 - 専門学校／高専
 - 専門学校／高専（高校卒業後）
 - コミュニティカレッジ／短大（短期大学士）
 - 大学（学士号）
 - 大学院（修士号または博士号）
 - 語学学校
- 現在専攻している、または最終学歴で専攻した科目を選んでください。（カッコ内記載の科目は例）
 - 教養学（教育、美術、言語、文学、音楽、心理学）
 - 社会／法律（国際学、法律、政治、社会学）
 - 会計／経営／経済
 - 財務／マーケティング／貿易
 - 科学（農業、コンピュータサイエンス、数学、物理、統計）
 - 保健（医療、看護、薬品、公衆衛生）
 - 工学／建築
 - その他／なし
- 次の就業状況で最も近いものはどれですか。
 - フルタイム勤務者（個人事業主を含む）
 - パートタイム勤務者、定時・夜間制の学生
 - 無職（質問 6 へ）
 - 全日制学生（質問 6 へ）

- 現在就職中の方にお尋ねします。あなたの雇用主の事業は、次のどれが最も近いですか。
 - 農業／漁業／林業／鉱業
 - 建築／ビル設計
 - 製造 - 食品
 - 製造 - 薬品
 - 製造 - 化学
 - 製造 - 繊維／紙
 - 製造 - 石油／原油／ゴム
 - 製造 - 鋼鉄／その他金属
 - 製造 - 機械／精密機械
 - 製造 - 電機
 - 製造 - 自動車（あらゆる輸送手段を含む）
 - 製造 - セメント／ガラス
 - 製造 - 衣服
 - 製造 - その他
 - サービス - 教育（高校レベル以下）
 - サービス - 教育（短大・カレッジ以上、評価、研究）
 - サービス - 裁判／法規／地方／県
 - サービス - 外務
 - サービス - 軍隊／自衛隊
 - サービス - 保健／病院／医療研究
 - サービス - ホテル／娯楽／レストラン／旅行
 - サービス - その他
 - 公共事業（電気／水）
 - 放送／マスメディア
 - 通信
 - 小売／卸売
 - 商社
 - 会計／銀行／財務／セキュリティ
 - 保険
 - 不動産
 - 運輸
 - その他
- 現在就職中の方にお尋ねします。次の職種で最も近いものはどれですか。（カッコ内記載の職種は例）
 - 経営者（役員、管理職、理事）
 - 科学／技術専門職（エンジニア、数学者、プログラマー、研究者、科学者）
 - 教師／講師
 - 専門職（会計士、ブローカー、財務専門家、弁護士）

Copyright © 2021 by ETS. All rights reserved. ETS, the ETS Logo, and TOEIC are registered trademarks of ETS in the United States.

資料 A (続き)



バックグラウンドアンケート - ページ 2

- E. 作業技師（大工、電気技師、設備操作員、配管工）
- F. マーケティング／販売（為替仲買人、マーケティングアナリスト、不動産代理人、販売代理人、旅行代理人）
- G. 事務／総務職（オフィススタッフ、受付員、秘書）
- H. サービス（カスタマーサービス担当、人事担当、ホテルスタッフ、広告・宣伝）
- I. その他

セクション II.

英語学習期間

6. 何年間、英語を学習していますか。
- A. 4 年以下
 - B. 4～6 年
 - C. 6～10 年
 - D. 10 年超
7. 次のうち、最も重要視する／していた英語の技能はどれですか。
- A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング
8. 日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか。
- A. なし
 - B. 1～10%
 - C. 11～20%
 - D. 21～50%
 - E. 51～100%
9. 次の英語技能のうち、最もよく使用するものはどれですか。
- A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング

10. 英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか。
- A. ほとんどない
 - B. あまりない
 - C. 時々
 - D. 頻繁にある
 - E. ほぼ常時
11. 英語を主言語とする国に滞在したことがありますか。
- A. なし（質問 13 へ）
 - B. 6 カ月未満
 - C. 6 カ月～12 カ月
 - D. 1 年～2 年
 - E. 2 年超～
12. 英語圏に滞在した主な目的は何でしたか。
- A. 進学のため（英語学習プログラム以外）
 - B. 英語学習プログラム参加のため
 - C. 旅行のため（仕事に無関係）
 - D. 仕事のため
 - E. その他

セクション III.

TOEIC® Tests 受験経験

13. 今回の受験前に、何回 TOEIC® Tests を受験しましたか。
- A. なし
 - B. 1 回
 - C. 2 回
 - D. 3 回以上
14. 今回の TOEIC® Tests の主な受験目的は何ですか。
- A. 就職活動のため
 - B. 昇進・昇格のため
 - C. 英語学習プログラムの結果を測るため
 - D. 将来の学習ニーズを知るため
 - E. 学習中のコース卒業のため

資料 B1

2021 年 TOEIC® Speaking Test の母集団に基づく各設問の回答率

バックグラウンドアンケートの設問	回答率
1. 学歴	89%
2. 専攻科目	85%
3. 就業状況	89%
4. 業種	99%
5. 職種	99%
6. 英語学習期間	88%
7. 最も重要視する言語技能	88%
8. 日常生活での英語使用率	88%
9. 最も使用する英語技能	87%
10. 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	87%
11. 英語圏滞在期間	87%
12. 英語圏滞在目的	100%
13. TOEIC S&W 受験回数	88%
14. TOEIC S&W 受験目的	88%

*注：質問項目 4、5 および 12 はすべての受験者に当てはまるわけではないことから、これらの質問項目の回答率は、他の質問のサンプル数よりも少ないサンプルに基づいています。

資料 B2

2021 年 TOEIC® Writing Test の母集団に基づく各設問の回答率

バックグラウンドアンケートの設問	回答率
1. 学歴	65%
2. 専攻科目	59%
3. 就業状況	65%
4. 業種	98%
5. 職種	96%
6. 英語学習期間	61%
7. 最も重要視する言語技能	61%
8. 日常生活での英語使用率	61%
9. 最も使用する英語技能	61%
10. 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	61%
11. 英語圏滞在期間	61%
12. 英語圏滞在目的	99%
13. TOEIC S&W 受験回数	65%
14. TOEIC S&W 受験目的	65%

*注：質問項目 4、5 および 12 はすべての受験者に当てはまるわけではないことから、これらの質問項目の回答率は、他の質問のサンプル数よりも少ないサンプルに基づいています。

資料 C

地域別スピーキング・ライティングスコアの相関値

地域	相関値
アジア	0.78
ヨーロッパ	0.65
北米	0.80
南米	0.74



+



www.ets.org

149891-139191 • UNLWEB522